

# 一般社団法人 日本腎不全看護学会

## 2020年度 定時社員総会資料

日 時:2020年11月6日(金)  
14:00 ~ 15:00

会 場: 公益財団法人 浅香山病院 会議室  
大阪府堺市堺区今池町 3-3-16

※ご参集いただく必要はございません。

### 【報告事項】

- ・入会状況・年会費納入状況
- ・2019年度事業報告
- ・その他の活動報告
- ・「慢性腎臓病療養指導看護師」の英語名称および略称の変更について

### 【決議事項】

- 第1号議案:2019年度収支計算書ならびに財務諸表承認の件
- 第2号議案:2020年度事業計画および予算案承認の件
- 第3号議案:定款変更の件
- 第4号議案:学術集会大会長承認の件

# 一般社団法人日本腎不全看護学会 第3期組織図

会員総会

社員総会 社員: 66名

理事会 理事および監事: 21名

理事長 中原 宣子	副理事長 岡山 ミサ子
庶務理事 中野 美子 (会計担当)	
庶務理事 相澤 裕	
庶務理事 松木 理浩	

監事: 2名	監事 山口 伸子
	監事 不動寺美紀

[常設] 委員会

編集委員会	齋藤 凡	桐明 あゆみ	榊 みのり	武田 貴美子
		田中 順也	中村 光江	

教育委員会	濱井 章	大坪 みはる	熊澤 ひとみ	高尾 美香
		鳥居 芳行	中野 いずみ	三村 洋美

研究委員会	神谷 千鶴	黒田 沙織	小坂 志保	富樫 たつ子
-------	-------	-------	-------	--------

看護研究助成 審査委員会	杉田 和代	岡 美智代	佐藤 久光	中原 宣子
-----------------	-------	-------	-------	-------

広報委員会	円城寺 由加里	上田 聡美	新田 靖之	松田 愛
		水内 恵子		

看護政策委員会	宮下 美子	赤津 サトミ	井島 順子	内田 明子
		水内 恵子		

医療安全感染対策委員会	井本 千秋	帯金 里美	谷口 弘美	彦坂 香世
-------------	-------	-------	-------	-------

災害対策委員会	長尾 尋智	伊藤 美和子	徳田 勝哉	新田 靖之
---------	-------	--------	-------	-------

国際交流委員会	平松 美紀	齋藤 凡	高井 奈美
---------	-------	------	-------

倫理委員会	榊 みのり	内田 明子	大脇 浩香	神谷 千鶴
		水内 恵子		

統計調査委員会	定本 高子	久貝 波留菜	小坂 志保	中山 重雅
---------	-------	--------	-------	-------

CKD委員会	木村 剛	阿部 利恵	内田 明子	小坂 志保
		佐藤 久光		

認定委員会	阿部 利恵	大森 泉	小坂 志保	下山 節子
		高井 奈美	武田 貴美子	中村 雅美
		西川 沙織	平野 道枝	山尾 美希
				山口 洋子

DLN委員会 [9地区代表]	後藤 浩也	副委員長: 小手田 紀子	北海道: 松田 愛	東北: 近江 薫	関東: 青木 栄子
		甲信越: 塩野入 悦子	北陸: 藤野 陽子	東海: 井島 順子	近畿: 中尾 弘美
		中国・四国: 高橋 妙子	九州・沖縄: 山口洋子		

学術集会企画委員会	・23回: 水内恵子(広島) ・24回: 中村光江(福岡) ・25回: 宮下美子(愛知)			
-----------	--	--	--	--

[暫定] 選挙管理委員会

一般会計

特別会計

特別会計

一般会計

正会員:DLN \*慢性腎臓病療養指導看護師(旧 透析療法指導看護師)

Dialysis Care and Management of Chronic Kidney Disease Leading Nurse

都道府県名	登録者数	DLN	都道府県名	登録者数	DLN
北海道	164	56	滋賀県	50	21
青森県	26	8	京都府	89	29
岩手県	44	7	大阪府	246	82
宮城県	48	9	兵庫県	147	33
秋田県	24	8	奈良県	46	16
山形県	34	16	和歌山県	23	7
福島県	38	11	鳥取県	34	12
茨城県	53	15	島根県	21	3
栃木県	55	11	岡山県	67	22
群馬県	36	8	広島県	107	40
埼玉県	174	46	山口県	38	12
千葉県	171	54	徳島県	29	11
東京都	298	84	香川県	36	14
神奈川県	241	47	愛媛県	81	21
新潟県	43	9	高知県	42	15
富山県	67	22	福岡県	222	79
石川県	61	15	佐賀県	29	6
福井県	36	9	長崎県	57	21
山梨県	29	14	熊本県	76	22
長野県	67	20	大分県	26	7
岐阜県	66	14	宮崎県	21	8
静岡県	75	15	鹿児島県	31	13
愛知県	388	130	沖縄県	36	7
三重県	45	18	住所不明	23	2
合計		会員・DLN	3860		1149

第16回までのDLN試験合格者累計:1967名

※DLN在籍者数

賛助会員 40

個人	0
法人	40

男女比	女性 91.3%	男性 8.7%
看護資格	看護師 98.7%	准看護師 1.3%

日本腎不全看護学会 正会員入会状況・年会費入金状況

2020年8月末現在

正会員数 3,860名

DLN人数 1,149名

2018年度年会費 入金 3,404名 88.2%

2019年度年会費 入金 3,388名 87.8%

---

2019年8月末現在

正会員数 4,010名

DLN人数 1,170名

2017年度年会費 入金 3,446名 85.9%

2018年度年会費 入金 3,270名 81.5%

## 2019 年度事業報告

### 執行役員会

理事長：中原宣子

事業内容	事業実施事項
<p><b>1. 本学会の安定稼働</b></p> <p>1) 各委員会活動支援</p> <p>2) 事務局との連携</p> <p>3) 学術集会支援</p> <p><b>2. 運用の見直し</b></p> <p>1) 出版物に関する取り決めの明確化</p> <p>2) 「慢性腎臓病療養指導看護師」略称の適正化</p> <p>3) 細則の見直し(一部)</p> <p><b>3. COVID-19 関連対策</b></p> <p>1) 会員への情報提供</p> <p>2) アンケート調査実施</p> <p>3) 種々の影響対応</p> <p><b>4. 関連学会との連携</b></p> <p>1) RRT 参加</p> <p>2) JSDT 学術集会協力</p> <p>3) JADP 情報交換</p> <p>4) JACE アンケート協力</p> <p><b>5. 代議員・理事選挙準備</b></p>	<p><b>1.</b></p> <p><b>理事会開催</b></p> <p>第 1 回理事会 2019 年 11 月 8 日(金)札幌</p> <p>第 2 回理事会 2020 年 2 月 9 日(日)東京</p> <p>第 3 回理事会 2020 年 6 月 28 日(日) COVID-19 のため Web 開催</p> <p>第 4 回理事会(臨時)2020 年 8 月 23 日(日) “</p> <p style="padding-left: 20px;">コロナ感染影響下における社員総会のあり方、次期代議員選挙準備など</p> <p>☆書面決議 2020 年 4 月 2 日(木)発信 「DLN 試験に関して」</p> <p><b>執行役員会開催</b></p> <p>理事会を円滑に施行するため、また問題解決の情報収集のため執行役員会を開催。2020 年 3 月以降の会議は全てリモート会議に変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第 1 回(臨時)執行役員会 2019 年 12 月 16 日</li> <li style="padding-left: 20px;">第 23 回学術集会請負会社変更にあたって、PCO ワークスに業務委託契約の解約について合意のための面談を行った。</li> <li>● 第 2 回執行役員会 2020 年 1 月 17 日(金)</li> <li>● 第 3 回執行役員会 2020 年 5 月 1 日(金)</li> <li>● 第 4 回執行役員会 2020 年 6 月 19 日(金)</li> <li>● 第 5 回(臨時)執行役員会 2020 年 7 月 14 日(火)</li> <li style="padding-left: 20px;">CKD ケアガイド予算執行状況に関して、出版に関わった人々への謝金、および CQ の判断について、木村理事、阿部理事に尋ね、出版物に関する規定(案)謝礼等の細則(案)の参考とした。</li> <li>● 第 6 回(臨時)執行役員会 2020 年 8 月 4 日(火)</li> <li style="padding-left: 20px;">謝金の取り扱いを検討、細則の確認と課題を明確化した</li> <li>● 第 7 回執行役員会 2020 年 8 月 17 日(月)</li> </ul> <p><b>2.</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定出版物の整理と手当確認</li> <li>・ 医学書院との面談(2020 年 2 月 9 日)</li> <li>・ 執筆者への印税の導入</li> <li>・ 略称の検討</li> <li>・ 細則の見直し</li> <li style="padding-left: 20px;">「学術集会企画委員会運営細則」の改定</li> <li style="padding-left: 20px;">「じゃんぴょん利用規約」の作成</li> <li style="padding-left: 20px;">「出版物に関する規定」の作成</li> </ul>

	<p><b>3.</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページを通じて COVID-19 に関する会員へのメッセージおよび情報発信 (2/27 3/14 3/18 4/24 4/25 8/20)</li> <li>・全国の DLN を対象に感染対策等のアンケート調査実施 (2020 年 8 月 17 日)</li> <li>・Web 会議ツールの導入</li> </ul> <p><b>4.</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Renal Replacement Therapy 誌の公式欧文誌契約 (2020 年 8 月 25 日)</li> <li>・第 66 回日本透析医学会プログラム委員会参加</li> <li>・日本透析医会 : COVID-19、自主機能評価指標の公開などの HP 掲載協力</li> <li>・日本臨床工学技士会のタスク・シフト/シェアに関する厚労科研調査協力</li> </ul> <p><b>5.</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代議員・理事選挙簡易スケジュールの共有と調整</li> </ul>
--	---

## 2019 年度事業報告

編集委員会

委員長：齋藤凡

事業内容	事業実施事項
1. 学会誌発行	<p>(1) 第 22 巻 1 号発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2019 年 9 月 第 22 回学術集会講演者へ原稿依頼</li> <li>・ 2020 年 1 月 第 22 回学術集会講演者の最終原稿受理</li> <li>・ 2020 年 3 月 最終校正</li> <li>・ 2020 年 4 月 第 22 巻 1 号発行（電子媒体）</li> </ul> <p>(2) 第 22 巻 2 号発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2019 年 9 月 投稿原稿を検討し査読候補者決定・依頼</li> <li>・ 2019 年 12 月～2 月 査読結果受理、再査読の依頼、著者に調整</li> <li>・ 2020 年 4 月 掲載原稿の決定  <div style="text-align: right; margin-left: 20px;">認定委員会へ DLN 事例報告の掲載推薦依頼</div> </li> <li>・ 2020 年 5 月 掲載原稿の一部修正依頼</li> <li>・ 2020 年 6 月 最終稿入稿</li> <li>・ 2020 年 7 月 原稿校正</li> <li>・ 2020 年 8 月 第 22 巻第 2 号発行（冊子体と電子媒体）</li> </ul>
2. 学会誌の投稿・ 査読システムの整備	<p>(1) オンライン査読システム運用開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2019 年 11 月 オンライン査読システムに向けて投稿規定の修正検討</li> <li>・ 2020 年 1 月 オンライン査読システム試行</li> <li>・ 2020 年 4 月 オンライン査読システム運用開始</li> </ul> <p>(2) 査読基準の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020 年 2 月 第 1 回理事会にて投稿規定の修正審議</li> <li>・ 2020 年 3 月 査読基準を追加した投稿規定修正案作成</li> <li>・ 2020 年 8 月 第 3 回理事会で査読基準を含めた投稿規定の修正審議、確定</li> </ul>
3. 事業運営のための 委員会開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11/10 第 1 回編集委員会開催（ロイトン札幌）</li> <li>・ 3/28 第 2 回編集委員会開催（Web）</li> </ul> <p>いずれも委員 6 名参加、他はメール審議</p>

2019 年度事業報告

教育委員会

委員長：濱井章

事業内容	事業実施事項
<p>1. 研修事業</p>	<p>(1) 第 4 回 D L N 受験対策セミナー                      2019 年 9 月 6 日（金）～9 月 8 日（日）3 日間 12 講座                      A P 東京・八重洲通りにて開催</p> <p>講師                      大坪みはる（関西看護医療大学）                      衣笠えり子（昭和大学横浜北部病院）                      遠藤ミネ子（恵仁会 三愛病院）                      三村洋美（昭和大学）                      水内恵子（池田バスキュラーアクセス・透析・内科）                      岡美千代（群馬大学大学院）                      宮下美子（新生会第一病院）                      松岡由美子（上野透析クリニック）                      下山節子（日本看護キャリア開発センター）                      川畑信也（八千代病院）                      杉田和代（東京有明医療大学）</p> <p>参加者 78 名</p> <p>(2) 第 22 回日本腎不全看護学会学術集会併設基礎教育セミナー                      2019 年 11 月 9 日（土） 15 時 50 分～17 時 20 分 3 講座                      ロイトン札幌 2 階 会議室</p> <p>① 足病変の最新のケア                      澄川真珠子（札幌医科大学保健医療学部看護学科）                      事前申し込み 50 名 当日参加あり全体数不明</p> <p>② 認知症のチームケアの人材育成                      宮下美子（新生会第一病院）                      事前申し込み 15 名 当日参加あり全体数不明</p> <p>③ 医療倫理                      高井奈美（名古屋大学医学部附属病院）                      事前申し込み 27 名 当日参加あり全体数不明</p> <p>(3) 第 14 回トピックス研修                      2020 年 3 月 1 日（日）1 日研修                      昭和大学                      「維持血液透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言」に関する最新情報</p>



<p>2. 事業運営のための 委員会開催</p>	<p>COVID-19の影響により中止</p> <p>(4) 第5回透析入門セミナー 2020年5月16日(土)17日(日) 階行会セントラルクリニック 「腹膜透析の基礎」「腹膜透析手技の演習」 COVID-19の影響により中止</p> <p>(1) 2019年11月9日(土) 14時20分～15時20分 ロイトン札幌 20階 会議室 5名参加 新メンバー顔合わせ、事業計画、予算案の読み合わせ トピックス研修の内容、運営について検討</p> <p>(2) 2020年2月29日(土) 17時～ 昭和大学 会議室 COVID-19の影響により中止しメール会議に変更</p> <p>(3) 2020年6月15日(月) 19時～19時30分 Zoomにてオンライン会議 4名参加 今後のセミナー開催について検討</p> <p>(4) 2020年6月26日(金) 20時～21時 Zoomにてオンライン会議 6名参加 今後のセミナー開催について検討</p>
------------------------------	--

2019 年度事業報告

研究委員会

委員長：神谷千鶴

事業内容	事業実施事項
<p>1. 研究支援</p> <p>1) 教育事業の中に、助成金の申請方法や研究計画書の書き方などの研究に関する講座を入れるなど会員が研究を行えるような事業の実施。学術集会での交流集会の開催。</p> <p>2) 国際学会発表への支援、連絡ボードなどを利用した支援体制を検討する。</p> <p>2. 政策にかかわる統計調査への協力、助成金の獲得（看護評価のための介入研究の計画書の作成）</p> <p>3. 前期より継続していた研究の成果発表</p> <p>4. 事業推進のための委員会開催</p>	<p>11月10日（日） 9時～17時20分 ロイトン札幌 内容：「臨床疑問が看護研究になるまで」として、交流集会を実施した。参加者は20名程度であった。臨床で疑問に思っていることを研究テーマにするまでの過程を説明し、実際に今考えている研究テーマについて発表してもらい、助言を行った。</p> <p>関連学会ANNS等での発表に関する支援を行う 随時ホームページなどでコラムの掲載する計画であったが、ANNSの延期、各種学会が中止や延期となったため、中止となった。</p> <p>統計調査委員会と合同で企画予定である。 その前に、学会としてどのようなデータが必要かを研究委員会で『腎代替療法選択説明に関する実態調査質問項目【案】』を提出した。統計調査委員会にも意見を募り、理事会に提出し、政策委員会とも合同で協議することとなった。</p> <p>Creating a Nursing Diagnosis Database for Patients Suffering from Chronic Kidney Disease, The 9<sup>th</sup> Asia Pacific Chapter meeting of international Society for Peritoneal Dialysis, September 5-7, Nagoya, p. 458. 神谷千鶴, 榊みのり, 富樫たつ子, 黒田沙織, 江川隆子 (2019) : 看護診断データベース／透析看護に関する再検討（アンケート調査から）, 第22回日本腎不全看護学会学術集会, 11月9-10日, 札幌, p. 139.</p> <p>第1回 11月10日（日）交流集会終了後（ロイトン札幌） 第2回 4月16日（木）メール会議 統計調査委員会合同</p>

2019 年度事業報告

看護研究助成審査委員会

委員長：杉田和代

事業内容	事業実施事項
<p>1. 研究助成事業</p>	<p>1. 研究助成事業</p> <p>(1) 看護研究助成公募：2019年10月1日～2020年2月29日</p> <p>(2) 応募者の申請内容の審査および助成の決定、交付</p> <p>    総応募数 4件</p> <p>    厳正な審査後、理事会の承認を得て以下の2件に決定した</p> <p>    ①「透析患者に関する看護者における聞き書きの影響」</p> <p>        板谷真紀子様（医療法人恵泉会せせらぎ病院）</p> <p>        助成金額 30万円</p> <p>    ②「高齢血液透析患者の意志決定に関わる看護師の倫理的問題と関連要因」</p> <p>        武田（山中）晶子様（武庫川女子大学大学院）</p> <p>        助成金額 20万円</p> <p>(3) 研究助成結果報告の確認</p>

## 2019 年度事業報告

### 広報委員会

委員長：円城寺由加里

事業内容	事業実施事項
1. 委員会開催	<p>1. 委員会開催</p> <p>(1) 2019年11月9日(土) ロイトン札幌 委員5名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容の確認と今後の方針</li> <li>・担当に関する件</li> <li>・HP管理</li> </ul> <p>(2) 2020年2月9日(日) AP品川Y会議室 委員5名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP利用状況確認</li> <li>・既存ページの更新の依頼と修正箇所の洗い出し</li> </ul> <p>(3) 2020年7月26日(日) web会議委員4名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LINEスタンプ 利用規約案 SOLT I の活用ダウンロード等</li> <li>・災害対策委員会との連携情報の共有と情報発信体制</li> </ul>
2. ホームページ運用と管理	<p>1. ホームページ更新作業</p> <p>(1) HP更新 PC0ワークス→ガリレオ社</p> <p>(2) 作業手順の確認 対応状況の確認</p> <p>(3) バナー変更と information の活用</p> <p>2. 既存表示内容の確認と更新</p> <p>(1) 学術集会・セミナー等、DLN、災害支援、学会刊行物・リンク集等の確認と更新 各委員会活動の更新</p> <p>3. 利用状況の確認</p> <p>(1) 会員の SOLT I 登録状況 宣伝強化 非会員への新規導入</p>
3. 広報マスコットの利用	<p>1. 「じゃんびょん」利用方法について検討</p> <p>(1) 会員に向けてのスタンプ無料ダウンロード</p> <p>(2) 運用内視案 利用規約、許諾範囲、禁止事項</p> <p>2. 「じゃんびょん」会員：使用許可の簡素化 企業：使用許可現行</p>
4. 災害時の対策 新型コロナウイルス (COVID-19)	<p>1. 災害時の対応</p> <p>(1) 災害対策委員会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の共有と発信体制(各県 DLN 代表と共有体制の協議)</li> </ul> <p>(2) 災害時の広報の役割について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時のホームページ掲載(救援、災害状況)</li> </ul> <p>2. 災害に対する啓蒙</p> <p>3. 新型コロナウイルス(COVID-19)関連のリンク information トピックスで発信</p>

2019 年度事業報告

看護政策委員会

委員長：宮下美子

事業内容	事業実施事項
R4 年診療報酬改定に向けた活動	<p>2020 年 1 月 24 日 R3 年度介護報酬要望書 2 項目を看保連に提出。 「CKD 透析予防指導管理料（仮称）の新設」「CKD ステージ 4 以上の患者の治療法選択に、専門的教育を受けた看護師などが多職種連携して指導介入することへの指導管理料の新設」</p> <p>2020 年 10 月 R4 年度診療報酬改定意向調査提出予定</p> <p>2020 年 6 月 7 日 委員会 WEB 開催 今後、効果的な治療選択支援を行うことで、PD や腎移植が増えている等のデータとまとめる。</p>
看保連	<p>看保連主催の情報交換会、診療報酬あり方委員会中止</p>
看護系学会協議会	<p>2020 年 6 月 7 日 看護系学会協議会社員総会 WEB 開催 宮下出席</p>

## 2019 年度事業報告

医療安全・感染対策委員会

委員長：井本千秋

事業内容	事業実施事項
<p>1. 日本医療安全調査機構(医療事故調査・支援センター)への協力</p>	<p>(1) 協力学会としての登録(年1回更新手続き)            ・事務局担当：ガリレオ事務局 柳澤            ・総括責任者：井本</p> <p>(2) センター調査 個別調査部会の参加部員の推薦            ・事例 C0102(東北ブロック)阿部睦美様            ・事例 C0109(近畿ブロック)中尾弘美様</p> <p>(3) 協力学会の説明会            令和2年3月25日(水)に予定されていたが中止            説明会の資料のみ送付される</p>
<p>2. 日本透析医学会危機管理委員会医療安全小委員会との連携</p>	<p>(1) 日本透析医学会危機管理委員会医療安全小委員会委員の就任</p>
<p>3 医療安全及び感染対策について会員からの相談対応</p>	<p>(1) 透析室内でのベッド柵使用についての質問があり、委員4名で検討後、回答文書作成</p>
<p>4. COVID-19における活動</p>	<p>(1) 学会員に向け COVID-19 感染対策呼びかけの文書をホームページへアップ            (2) 学会から DLN に向けた COVID-19 対策アンケートの作成協力</p>

2019 年度事業報告

災害対策委員会

委員長：長尾尋智

事業内容	事業実施事項
<p>災害対策への啓蒙を図る</p> <p>1. JHAT への協力</p> <p>各地域での JHAT 隊員研修の開催と参加者の募集（JHAT の行う事業への JANN 災害対策委員会として参加し、災害時の教育、連絡体制の強化を図る。）</p>	<p>2019/10/13 東北豪雨の情報収集（各団体へ情報提供呼びかけ）</p> <p>2019/10/21～31 豪雨災害のため福島県本宮市の谷病院へ JHAT 隊員派遣</p> <p>相澤 裕（JANN 会員、JHAT 隊員）          桐本隆弘（JANN 会員、JHAT 隊員）          福永絵美（JANN 会員、JHAT 隊員）</p> <p><b>JHAT 隊員研修への委員の派遣</b></p> <p>災害対策委員の伊藤美和子氏を、第 6 回 JHAT 隊員 養成研修会          日時：2020 年 2 月 29 日（土）～3 月 1 日（日）          場所：岡山済生会総合病院（岡山市北区国体町 2-25 に派遣予定とした。派遣費用として委員会予算から交通費、宿泊費、参加費の支弁を行う。          飛行機、ホテル、交通費概算 58860 円          理事長 中原 宣子氏は腎不全看護学会代表として、          長尾尋智、相澤 裕、各氏は JHAT 事務局委員として参加。手稲ネフロクリニック 大塚綾氏は講師として参加。          JHAT 活動、災害対策委員会活動に関して、各 DNL 県代表者との連携を密に行い、充実を図る。また、活動報告および各地域の災害対策状況について調査などによりまとめ、広報委員会とも調整の上 HP、会報への展開を目指す。</p> <p>以上本年度の予定としていましたが、コロナウィルス禍のため以降の JHAT 隊員研修会はすべて中止となった。          そのため、予定していた予算の執行は行うことなく現在に至った。</p> <p><b>JHAT 事務局会議への参加（WEB 会議）</b></p> <p>2019/11/13 事務局会議 災害派遣の報告等 長尾、佐藤、相澤          2020/2/18 COVID-19 の影響による第 6 回隊員研修延期について          長尾、佐藤、相澤</p> <p>4/26 JHAT 隊員研修会予定、内容の確認 長尾、相澤、佐藤          6/24 JHAT 隊員研修会開催予定等の検討、長尾、佐藤          隊員向け情報伝達訓練の内容、実施について</p> <p>7/7 JHAT 九州地方豪雨に関する情報収集（レベル 1 発動）          7/8 長尾、相澤、佐藤、DNL 後藤、広報委員会          九州豪雨災害への対応</p> <p>8/25 JHAT 隊員向け情報伝達訓練（ZOOM）（研修会の代替）          長尾、相澤、佐藤</p>

<p>2. 災害時対応  (情報収集を行い、JHAT への情報提供を行う。  DLN 委員会等の組織を用い情報収集体制を確立する。  収集した情報を学会員へ還元する方法を検討する。)</p> <p>3. 事業推進のための委員会開催</p>	<p>9/3 情報伝達訓練事務局反省会 相澤、佐藤 (ZOOM)</p> <p>9/4 福井県地震情報収集 徳田、相澤、長尾(ライン)  特に情報なく終息した。</p> <p><b>各 DNL 県代表者との連携を密に行い情報収集にあたる。</b></p> <p>7/7 九州豪雨災害に対して DNL 委員会、と協働した情報収集を行った。主にラインでの報告となった。  広報委員会と協働し、HP への情報収集活動の下肢状況 UP を行い、情報収集活動を促した。</p> <p>各地域の情報収集ができ、JHAT 事務局と共有することができた。結果、特に救援要請、災害時救援物資支援の要請等なく終息となった。その他、各地域で起きた、集中豪雨、地震発生時において、情報共有が行われたが、現在まで災害派遣には至っていない。</p> <p><b>6/10 委員会開催 (ライン会議) 長尾、伊藤、徳田</b>  情報内容をまとめ、JANN にて報告をめざしたが、この度の豪雨災害に当たり、報告もなかったため、結果には至らなかった。  JHAT 隊員研修訓練参加者のなかで、DLN、JANN 会員の参加比率調査があげられ、JHAT 事務局に問い合わせしたが、隊員登録項目に記載項目がないため調査はできない状況。今後、当委員会、DNL 委員会を含めて、確認作業に当たる。</p> <p>以下は JHAT 隊員養成研修会の参加人数。</p> <p>第 1 回 (東京) : 87 名  第 2 回 (東京) : 25 名  第 3 回 (大阪) : 41 名  第 4 回 (名古屋) : 116 名  第 5 回 (福岡) : 65 名</p> <p>現在までの参加者合計は、334 名となる。  隊員登録名簿、看護師区分 76 名  名簿から照合作業を進めるが、方法について要検討。</p>
---	--



2019 年度事業報告

国際交流委員会

委員長：平松美紀

事業内容	事業実施事項
<p>1. 第 6 回アジア腎看護シンポジウム（6<sup>th</sup> Asian Nephrology Nursing Symposium:ANNS）シンガポール大会について、開催国への協力</p>	<p>シンガポール大会の大会長である Amy Lim Ee Lin 氏と連絡を取り、次回シンガポール開催に協力する旨を伝えた。しかし、2020 年 8 月⇒10 月⇒2021 年 3 月と延期となった。それに伴い、演題募集の期間なども確認を行ったが、正式に告知されることはなく、現在はホームページも閉鎖されている。 適宜連絡を取り、確認を継続している。</p>
<p>2. 国際腹膜透析学会（International Society for Peritoneal Dialysis:ISPD）リエゾナーズ委員として各国との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ISPD リエゾナーズ委員会（参加国：イギリス、ブラジル、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、ケニア、日本）のウェブカンファレンスに平松が参加した。（2019 年 11 月～8 月まで計 5 回）</li> <li>● ISPD グラスゴー大会（スコットランド）は 2021 年 3 月に延期となったため、対面での会議は開催されなかった。</li> <li>● コロナ禍における腹膜透析看護師の実態調査を実施するために、質問項目等の調整を行った。</li> <li>● ISPD ウェブサイトに寄せられる“Qestion about PD”について、看護に関連した内容に回答する際の情報収集に協力した。</li> </ul>
<p>3. 海外の腎不全看護に関するの情報提供</p>	<p>海外の状況については特に情報収集、発信は実施しなかったが、前述のコロナ禍の各国の状況について、今後報告できると考える。</p> <p>上記の活動について、委員会として対面での会議は実施しなかったが、適宜メールまたは SNS などで検討・相談を行った。</p>

2019 年度事業報告

倫理委員会

委員長：榊みのり

事業内容	事業実施事項
<p>1. 「透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言（案）」（日本透析医学会にて作成）の外部査読</p> <p>2. 上記1に対する、本学会のステートメント案の作成</p> <p>3. 日本腎不全看護学会 COVID-19対策緊急アンケートに関する倫理的配慮の検討</p> <p>4. 事業運営のための委員会開催</p>	<p>1. 外部査読の実施</p> <p>1) 2019年11月8日～2019年11月22日 査読実施</p> <p>2) 2019年11月22日 日本透析医学会（提言作成委員会）に提出</p> <div data-bbox="550 465 1444 801" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;主な意見の内容&gt;</p> <p>(1) 【提言】患者から十分な情報を収集：患者から収集する情報として、経済面（経済不安）を含める方がよい。</p> <p>(2) 【提言の臨床活用のための工夫】提言の普及促進を図る方法として、日本透析医学会 HP 以外にも掲載し、普及促進を図る対象として、医師に限局せず、医療チーム（看護師、臨床工学技士、ソーシャルワーカー、栄養士、薬剤師）および介護従事者（介護福祉士、介護支援専門員など）を含める方がよい。</p> <p>(3) 【話し合いの記録】医療チームが患者および家族等と共有するのは、話し合いの内容や情報であり、文書（記録）の公開を必ずしも意味していないことを記載した方がよい。</p> <p>(4) 【話し合いの記録】話し合いの記録における強調点（a. 治療選択の意思に関連した患者・家族の発言、患者の受診状況・通院中断などの内容、および b. 医療者はどこにどのような記録をすべきか等）を含めた方がよい。</p> </div> <p>3) 2019年12月27日 日本透析医学会（提言作成委員会）より回答</p> <p>4) 2020年4月17日 提言公開</p> <p>2. 本学会のステートメント案の作成</p> <p>1) 第2回理事会（2020/2/9）にて倫理委員会案への承認を受け決定</p> <p>2) 2020年4月22日～2020年7月13日 倫理委員会にて草案作成</p> <div data-bbox="550 1146 1444 1326" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;作成過程&gt;</p> <p>(1) 草案作成では、看護者の倫理綱領において、意思決定支援が看護の重要な役割であることを既に明言していることを考慮し、同倫理綱領を本学会のステートメントの基盤とした。</p> <p>(2) 看護の専門性を発揮しうる分野（看取り、アドバンス・ケア・プランニング等）にも着目し、関連学会の提言・ガイドライン、文献等を参考にしながら草案をまとめた。</p> </div> <p>3) 2020年7月14日 ステートメント案を理事長に提出</p> <p>4) 臨時理事会（2020/8/23）にてステートメント案の修正箇所を確認</p> <p>5) 2020年8月31日 修正後のステートメント案を理事長に提出</p> <p>3. COVID-19対策緊急アンケートに関する倫理的配慮の検討</p> <p>1) 2020年5月20日 執行役員より上記検討の依頼を受ける</p> <p>2) 2020年5月21日～2020年7月17日 倫理委員会にて検討（第3回理事会 2020/6/28 にて進捗報告）</p> <p>3) 2020年7月22日 執行役員に検討結果を最終的に報告</p> <p>4. 以下の会議以外はメールにて委員会開催</p> <p>1) 2019年11月9日 札幌 ロイトン札幌 委員4名参加</p>

## 2019 年度事業報告

### 統計調査委員会

委員長：定本高子

事業内容	事業実施事項
1. 統計調査についてのシステム作り	1. 委員会開催 (1) 2020年9月10日(木) zoom会議 委員4名参加 ・ 今までの委員会活動内容と活動見直しの経緯 ・ 統計調査委員会の活動の目的・範疇を確認 ・ 今後の委員会の事業内容の検討

2019 年度事業報告

認定委員会

委員長：阿部利恵

事業内容	事業実施事項																								
<p><b>1. DLN 認定試験事業</b></p> <p><b>2. DLN 認定更新事業</b></p> <p><b>3. 教育事業</b></p>	<p>(1) 認定試験受験資格審査（書類・事例報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請者数：112名（うち14名の事例報告再審査）を実施。全員受験資格有と判定</li> </ul> <p>(2) 第17回認定試験</p> <p>5月24日（日）に実施予定だったが、COVID-19による感染防止対策のため中止し、試験は次年度に振替としたが、2名より受験辞退の申請を受け受験料返金とした。</p> <p>(3) 受験申請システム</p> <p>今年度より施行し、特に問題なし。</p> <p>(4) 要項見直し</p> <p>COVID-19による影響を考慮し、2020年度の受験資格要件を検討した。</p> <p>(1) 認定更新申請書類および事例報告審査</p> <p>COVID-19による影響を考慮し、申請期間4月20日～5月22日を6月1日～6月26日に変更。加えて、認定更新が難しい場合は、2020年度の更新申請を認める特別措置を実施した。また、認定延長申請も特別措置対応に準じた。申請者および審査状況は以下。</p> <table border="1" data-bbox="480 1126 1337 1323"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>対象者</th> <th>申請者</th> <th>承認</th> <th>再提出</th> <th>次年度希望</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第12回更新</td> <td>94名</td> <td>38名</td> <td>27名</td> <td>11名</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>第7回再更新</td> <td>76名</td> <td>37名</td> <td>33名</td> <td>4名</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>第2回再々更新</td> <td>15名</td> <td>7名</td> <td>7名</td> <td>0名</td> <td>6名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 認定更新申請システム</p> <p>今年度より施行し、特に問題なし。</p> <p>(3) 要項見直し</p> <p>COVID-19による影響を考慮し、2020年度の更新要件を検討した。</p> <p>(1) 研修</p> <p>以下の研修計画は、COVID-19による感染防止対策のため中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①DLN研修：5月30日（土）10時～16時（AP東京八重洲）</li> <li>②治療選択特別研修：運営、講師に協力</li> </ul> <p>(2) 認定試験受験および認定更新申請時の事例報告</p> <p>COVID-19による影響にて、以下の事業は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①学会誌 DLN 事例方向特別枠への掲載推薦</li> <li>②DLN 事例集作成</li> </ul> <p>(3) 交流集会</p>	種別	対象者	申請者	承認	再提出	次年度希望	第12回更新	94名	38名	27名	11名	28名	第7回再更新	76名	37名	33名	4名	18名	第2回再々更新	15名	7名	7名	0名	6名
種別	対象者	申請者	承認	再提出	次年度希望																				
第12回更新	94名	38名	27名	11名	28名																				
第7回再更新	76名	37名	33名	4名	18名																				
第2回再々更新	15名	7名	7名	0名	6名																				

	<p>11月9日 第22回学術集会・総会にて「DLN 事例報告の書き方」を開催し、参加者は約50名。</p> <p>(4) DLN 相談コーナー 第22回学術集会・総会にて2日間開催し、受験および更新等に関する相談を受けた。</p> <p>(5) 教育事業の評価 統計調査委員会と連携し、評価項目の検討中</p> <p><b>4. 地方会登録事業</b></p> <p>(1) 新規申請 11件申請受付、審査のうえ地方会として登録</p> <p>(2) ライブフォーラム形式での研修の地方会登録について 地方会要件を満たすことを条件に、地方会申請を可能とする理事会承認を得た。</p> <p>(3) COVID-19による特別措置について 感染防止対策のため Web 開催した場合は、従来通りのポイントを付与することとした。</p> <p><b>5. 慢性腎臓病看護（第6版）テキスト作成</b></p> <p>「腎不全看護」から「慢性腎臓病看護」に改称し、医学書院より第6版として出版する。2021年6月出版を目指し、テキスト構成、執筆者選定および原稿依頼等検討のため、以下の編集会議を開催。</p> <p>第1回 10月20日（AP品川） 第2回 11月9日（ロイトン札幌） 第3回 12月22日（AP品川） 第4回 2月11日（増子記念病院 名古屋） 以下、COVID-19による感染防止対策にてリモート開催 第5回 8月22日（Microsoft Teams）</p> <p><b>6. 事業運営のための委員会開催</b></p> <p>第1回 11月10日 ロイトン札幌 第2回 3月8日（AP品川アネックス：認定試験受験資格審査会議兼） 以下、COVID-19による感染防止対策にてリモート等にて開催 第3回 7月1日配信（メール開催：認定更新審査会議兼） 第4回 8月30日（Microsoft Teams）</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--

2019 年度事業報告

DLN 委員会

委員長：後藤浩也

事業内容	事業実施事項
<p>1. 委員会開催</p> <p>2. DLN セミナー運営</p> <p>3. 九州豪雨災害における被災状況の確認</p> <p>4. 新型コロナウイルス感染症対策アンケート協力</p>	<p>1. 委員会開催</p> <p>(1) 2019年11月8日(金)ロイトン札幌 16:30~18:30 11名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3期第1回DLN委員会初会合</li> <li>・DLNセミナーについて説明</li> <li>・第2回全国DLN会議開催についての説明</li> </ul> <p>(2) 2020年3月14日(日曜)14:00~16:00 AP浜松町で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行を受け中止 理事会(DLN予算)・DLNセミナー企画についてメールで報告 メール会議となった</p> <p>(3) 6月に予定された会議についても中止となりメールにて企画の中止等報告 メール会議となった。</p> <p>(4) 随時:DLNセミナー企画について、メールで審議をおこなった</p> <p>2. DLNセミナー</p> <p>(1) 北海道、山梨、愛媛、静岡、DLNセミナーの企画提出があり審議承認し準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の流行にて全て中止となった</p> <p>(2) 第3回九州CKD看護研究会も中止となった</p> <p>3. 災害対策委員会から九州豪雨災害における被災状況について九州地区DLN代表を通じて各県代表に確認をおこない災害対策委員長に報告 災害対策委員長からJHATにも報告された 地区代表にその他被災の状況も確認</p> <p>4. 新型コロナウイルス感染症対策アンケートへのプレテストを地区代表に実施 全国のDLNにアンケート協力(DLN分布を使用)</p>

## 2019 年度事業報告

CKD 委員会

委員長：木村剛

事業内容	事業実施事項
<p>1. ケアガイド作成事業</p> <p>1) 保存期ケアガイド作成</p> <p>2) 腎移植ケアガイド作成</p> <p>3) 透析ケアガイド作成</p>	<p>1) 保存期ケアガイド作成の進捗状況</p> <p>2021 年 3 月発刊予定。8 月 20 日までに CQ に対する臨床の示唆までをワーキングメンバーによって終筆した。編者校正会議を経て 9 月末日に医学書院へ原稿入稿予定。</p> <p>2) 腎移植ケアガイド作成の進捗状況</p> <p>2021 年 11 月（当学会学術集会に合わせ）発刊予定。現在ワーキンググループによって CQ の検討が済み 31 個が CQ 候補として挙げられている。今後、CQ の妥当性について外部アドバイザー委員にエキスパートオピニオンを依頼し、その後その CQ についてキー論文を探す作業へ進んでいく。</p> <p>3) 透析ケアガイド：進捗なし</p>
<p>2. 広報事業</p>	<p>1) 集積した知見の公表</p> <p>(1) 第 22 回 JANN にて ISPD での発表内容を各ワーキングメンバーが日本語訳し公表した</p> <p>(2) 2020 年 2 月日本臨床移植学会にて腎移植ケアガイド作成チームが「日本における腎移植患者の標準的ケアガイド作成の試み」を発表した</p>
<p>3. 治療法選択特別研修</p>	<p>2019 年 11 月 学術集会時、12 月神戸での研修は予定通り開催実施されたが、2020 年 7 月、9 月の研修は COVID-19 感染拡大による影響にて中止となった。</p> <p>尚、2020 年度以降の本研修事業は、教育委員会が担当委員会となり継続となった。</p>

第22回日本腎不全看護学会学術集会・総会  
収支決算書

代表者 大会長 定本 高子

所 属 医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院



## &lt;収入の部&gt;

区分	項目	予算額	決算額	差異	備考
収 入	参加費収入	16,950,000	14,217,000	2,733,000	会員（事前登録）@9,000円×648名、非会員（事前登録）@12,000円×213名 会員（当日登録）@12,000円×195名、非会員（当日登録）@15,000円×231名 学生（当日登録）@3,000円×8名、参加者数合計：1295名
	懇親会参加費収入	450,000	699,000	-249,000	@3,000円×233名（事前：182名、当日：51名）
	役員懇談会		180,000	-180,000	@5,000円×36名
	抄録集売上収入	0	20,000	-20,000	@2,000円×10部
	広告料収入	1,760,400	874,800	885,600	プログラム@162,000円×1社、@129,600円×1社、@172,800円×1社、 @86,400円×1社、@54,000円×6社 HPバナー @108,000円×0社
	展示出展料収入	3,024,000	3,879,000	-855,000	@97,200円×38小間、@99,000円×1小間、@10,800円×10本
	セミナー共催料収入	10,476,000	5,292,000	5,184,000	ランチョンセミナー@1,080,000円×2社、@756,000円×2社、@540,000円×1社 スイーツセミナー @540,000円×2社
	補助金	500,000	500,000	0	一般社団法人日本腎不全看護学会
	寄付金・助成金	3,000,000	6,633,000	-3,633,000	(公財)日本腎臓財団508,000円、札幌市5,000,000円、その他1,125,000円
	受取利息	0	43	-43	
雑収入	0	0	0		
	<b>収入合計(1)</b>	<b>36,160,400</b>	<b>32,294,843</b>	<b>3,865,557</b>	

(単位:円)

## &lt;支出の部&gt;

区分	項目	予算額	決算額	差異	備考
支 出	事前準備費				
	人件費	1,620,000	902,000	718,000	事務局要員 2名× 10カ月
	登録処理費	1,296,000	1,490,190	-194,190	861件
	演題処理費	486,000	360,864	125,136	250件
	印刷費	3,024,000	4,165,287	-1,141,287	封筒2000部、趣意書200部、ネームカード1500部、ポスター100部、プログラム・抄録集1500部、サブスライド、ホームページ、ランチョン整理券、名刺作成
	会議費	0	560,087	-560,087	実行委員会 開催関係費
	旅費交通費	1,100,000	804,970	295,030	実行委員(11名)交通費等
	通信費	432,000	220,000	212,000	電話料金、送料(案内状100部、関連学会への会告送付40件、趣意書200部)
	備品費	0	0	0	
	消耗品費	0	0	0	
	事務用消耗品費	0	0	0	
	雑費	0	0	0	
	<b>小計</b>	<b>7,958,000</b>	<b>8,503,398</b>	<b>-545,398</b>	
	当日運営費				
	会場費	6,480,000	5,610,000	870,000	ロイトン札幌、3日間
	付帯設備費	972,000	972,000	0	映像・音響・照明設備、設備備品使用料
	機材費	8,300,000	7,517,125	782,875	映像・音響機材、技術要員15名、受付・会場文具、設営・撤去
	看板作成費	1,296,000	283,800	1,012,200	看板、表示板、ポスターパネル、間仕切り
	会場設営費	1,620,000	1,206,700	413,300	展示基礎小間工事、設営・撤去、運搬
	委託費	1,080,000	1,826,000	-746,000	コンベンションワークス
人件費	1,800,000	2,080,240	-280,240	プロ要員10名、アルバイト23名	
会議費	432,000	432,000	0	理事会、評議員会等	
懇親会費	2,592,000	2,292,448	299,552	懇親会飲食費：1,599,000円、役員懇親会費：435,388円、スタッフ用弁当：258,060円	
ドリンクサービス	378,000	378,000	0	2日間	
招請費	1,512,000	2,165,269	-653,269	国内講師(宿泊7名、旅費7名、謝金16名)	
旅費交通費	756,000	162,331	593,669	実行委員宿泊費、旅行代理店手数料	
賃借料	0	0	0		
雑費	540,000	137,280	402,720	記念品(40個)、感謝状、スタッフ昼食(160名分)、ミネラルウォーター(40本)、ネームストラップ(2000本)	
<b>小計</b>	<b>27,758,000</b>	<b>23,281,193</b>	<b>4,476,807</b>		
事後処理費					
印刷費	21,600	0	21,600	礼状100部	
通信費	20,000	0	20,000	送料(礼状100部)	
支払報酬	324,000	0	324,000	会計監査	
雑費	0	0	0		
<b>小計</b>	<b>365,600</b>	<b>0</b>	<b>365,600</b>		
その他					
支払手数料	0	4,814	-4,814		
予備費	78,800	0	78,800		
開催準備金返納		505,438			
<b>小計</b>	<b>78,800</b>	<b>510,252</b>	<b>-431,452</b>		
	<b>支出合計(2)</b>	<b>36,160,400</b>	<b>32,294,843</b>	<b>3,865,557</b>	
	<b>収支差額(1)-(2)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	



第 23 回日本腎不全看護学会学術集会・総会

収支予算書(2020年10月現在)

<収入の部>

項目			計
<b>I</b>	参加費他収入	1,400 名	14,890,000
1)	参加費 ※人数は見込み		
早期	事前：会員	10,000 円 × 900 名	9,000,000
	事前：非会員	13,000 円 × 300 名	3,900,000
	事前：学生	3,000 円 × 50 名	150,000
後期	事前：会員	11,000 円 × 50 名	550,000
	事前：非会員	14,000 円 × 50 名	700,000
	事前：学生	3,000 円 × 10 名	30,000
当日	当日：会員	12,000 円 × 20 名	240,000
	当日：非会員	15,000 円 × 20 名	300,000
	当日：学生	3,000 円 × 0 名	0
2)	プログラム・抄録集	2,000 円 × 10 冊	20,000
<b>II</b>	共催収入		3,080,000
	共催セミナー（ライブ+オンデマンド）	550,000 円 × 2 社	1,100,000
	共催セミナー（ライブまたはオンデマンド）	330,000 円 × 6 社	1,980,000
<b>III</b>	展示収入		0
	オンライン展示会出展（掲載）料	99,000 円 × 0 社	0
	書籍展示パネル掲載料 売上げの5%	× 1 社	-
<b>IV</b>	広告収入		979,000
	広告掲載料（表4）	286,000 円 × 1 社	286,000
	広告掲載料（表2）	253,000 円 × 1 社	253,000
	広告掲載料（表3）	220,000 円 × 1 社	220,000
	広告掲載料（表3対向）	165,000 円 × 1 社	165,000
	広告掲載料（1頁）	99,000 円 × 0 社	0
	広告掲載料（1/2頁）	55,000 円 × 1 社	55,000
<b>V</b>	その他寄附収入		1,550,000
	寄附金	50,000 円 × 1 社	50,000
	学術集会補助金	1,500,000 円 × 1 社	1,500,000
合計			20,499,000

<支出の部>

項目	金額（税込）
<b>a. 事前準備費</b>	14,131,000
1 事務局費	900,000
2 ホームページ作成費	700,000
3 WEB開催費用（オンデマンド配信関連費）	4,000,000
4 参加登録管理費	1,853,000
5 演題登録管理費	1,050,000
6 プログラム・抄録集作成費	1,800,000
7 その他制作物制作費	2,178,000
8 通信運搬費	850,000
9 会議準備費	800,000
<b>b. 当日運営費</b>	4,624,900
1 会場費	0
2 会場附帯設備費+持込機材	0
3 音響・照明関係	0
4 施工関連費	300,000
5 運営人件費	0
6 招聘関連費	500,000
7 飲食関連費用	100,000
8 懇親会費用	0
9 WEB開催費用（ライブ配信関連費用）	3,600,000
10 その他	124,900
<b>c. 事後処理費</b>	300,000
1 事後処理費	300,000
<b>d. 業務委託費（日本旅行取扱額の10%）</b>	1,443,100
合計	20,499,000

## 「慢性腎臓病療養指導看護師」の英語名称および略称の変更について

### 1. 経緯および変更内容

「慢性腎臓病療養指導看護師」は現在、6学会合同（本学会、日本透析医学会、日本腎臓学会、日本移植学会、日本泌尿器科学会、日本腹膜透析医学会）の認定資格制度として運営されているが、現行の英語名称および略称（Dialysis Care and Management of Chronic Kidney Disease Leading Nurse／DLN）について、「現在の英語名称は国際的には通用しないのではないか」との意見が寄せられ、理事会にて検討を行った。

種々討議を行った結果、英語名称および略称は、以下の通り改称することが承認された（第3回理事会／2020年6月28日開催）。

#### <新英語名称および略称>

英語名称：Chronic Kidney Disease Leading Nurse

略 称：CKDLN

### 2. 新英語名称および略称の施行

上記の決議に基づき、「慢性腎臓病療養指導看護師」の新英語名称および略称については、以下の通り施行する。

- 新英語名称および略称の使用開始：本社員総会終結後（2020年11月6日より）
- 定款第4条の表記：本社員総会にて改定を提案
- ホームページ・文書等の表記修正：ホームページ等主要な表記は順次修正を行い、2021年1月までに完了予定
- 認定者向けバッジの再デザイン・制作：2021年7月までに制作
- 学会発行書籍内での表記：学会誌等は順次表記を統一。テキストは次回改訂時に表記を統一する

## 第1号議案 2019年度収支計算書ならびに財務諸表承認の件

2019年度（2019年9月1日から2020年8月31日まで）における当学会の各種計算書類は下記のとおりであるので、その承認を求める。  
あわせて、監査報告を行う。

# 2019年度収支報告書〈一般会計〉

自 2019年9月1日 至 2020年8月31日

## 収入の部

(単位:円)

項目	2019年度予算	2019年度決算	備考(内訳)
年会費	37,210,000	40,850,000	
	2,000,000	4,440,000	(一般)過年度 444名
	34,070,000	35,180,000	(一般)当年度 3,518名
	1,140,000	1,230,000	(費助)当年度 41口
研修費	4,090,000	2,050,000	
	2,050,000	2,050,000	DLN受験対策セミナー 25,000円×82名
	840,000	0	透析看護入門研修 開催中止
	1,200,000	0	トピックス研修 開催中止
教育セミナー参加費	350,000	0	DLNセミナー
特別研修参加費	6,000,000	1,990,000	4カ所7日間
その他収入	490,000	180,171	
雑収入	200,000	180,021	テキスト印刷、WEB文献使用料など
受取利息	0	150	預金利息
受取手数料	290,000	0	
収入合計	48,140,000	45,070,171	

支出の部 I

(単位:円)

項目	2019年度予算	2019年度決算	備考(内訳)
<b>会議費</b>	<b>3,235,000</b>	<b>3,223,310</b>	役員会8回、理事会6回、社員総会1回、会計監査1回 (会議会場費、お弁当代) (交通費、宿泊費) (通信費) (印刷費、消耗品費、委託費、振込手数料)
<b>委員会活動費</b>	<b>5,845,110</b>	<b>943,896</b>	編集委員会 (会場費、会議費、交通費、通信費、委託費、雑費) 教育委員会 (会場費、会議費、通信費、委託費) 研究委員会 (委託費、雑費) 看護研究助成審査委員会 (通信費) 広報委員会 (会場費、会議費、交通費、委託費、雑費) 看護政策委員会 (会場費) 災害対策委員会 (会場費、通信費、委託費) 医療安全・感染対策委員会 (他団体への委員推薦やHPへの感染予防記事掲載、メールでの意見交換のみで経費はなし) 国際交流委員会 (交通費、雑費) 倫理委員会 (会場費、会議費) 統計調査委員会 (委託費、雑費) CKD委員会費 (会場費、会議費、交通費、通信費、印刷費、委託費、雑費)
<b>研修費</b>	<b>4,008,327</b>	<b>4,461,093</b>	トピックス研修 (通信費、委託費) 透析看護入門研修 開催中止 DLN受験対策セミナー (会場費、会場キャンセル料、お弁当代、交通費、印刷費、通信費、謝礼、委託費、雑費) 学術集会併設セミナー (謝礼3名、通信費、委託費、雑費)
<b>教育事業費</b>	<b>960,000</b>	<b>6,798</b>	DLNセミナー会場費 (1地区 1回開催) DLNセミナー交通費 (講師交通費) DLNセミナーその他経費 (講師謝礼、雑費)
<b>治療選択特別研修</b>	<b>4,084,400</b>	<b>4,804,940</b>	会場費 (4カ所 8日間開催) 交通費 (講師交通費、宿泊費) その他経費 (講師謝礼、印刷費、通信費、お弁当代、会場キャンセル料、委託費)

広報費	14,240,000	12,076,376	
	2,900,000	1,510,593	通信費・荷造運賃 (会告などの発送代、宅配便 他)
	600,000	483,487	ホームページ作成・管理費 (管理・更新手数料)
	1,500,000	661,720	印刷費 (会告、封筒など)
	9,240,000	9,420,576	学会誌 (22巻1号 電子版1回、22巻2号 冊子体1回、3350部)

## 支出の部Ⅱ

(単位:円)

項目	2019年度予算	2019年度決算	備考(内訳)
事務局費	14,254,500	14,328,108	
	0	9,845	水道光熱費 (2019年8月分電気料金)
	1,000,000	638,419	通信費 (電話料金、郵便・宅配便)
	300,000	92,718	交通費 (理事長 関連学会参加交通費)
	0	73,635	法定福利費 (正職員事業所負担分、退職金共済)
	0	2,626	事務用品費 (2019年8月分コピー代、印刷費)
	200,000	40,253	消耗品費 (事務消耗品費)
	800,000	1,295,100	支払報酬料 (税理士、司法書士)
	2,100,000	1,992,345	事務局移管初期費用 (事務局移管業務、2019年7月～先行業務分)
	7,250,000	7,110,222	事務局業務委託費 (ガリレオ社/事務局業務・投稿査読管理業務)
	730,000	730,000	関連学会年会費 (JHAT、看保連、看護系学会、全腎協)
	800,000	1,737,223	雑費 (クレジット決済手数料、コンビニ手数料、振込手数料、お花代)
	1,000,000	535,522	租税公課 (消費税、印紙、預金利息国税)
	74,500	70,200	法人税・住民税及び事業税 (法人県市民税)
助成金	500,000	500,000	看護研究助成金 2名
予備費	1,000,000	0	
支出合計	48,127,337	40,344,521	
収支差額	12,663	4,725,650	
正味財産前期繰越	13,628,629	13,628,629	
正味財産次期繰越	13,641,292	18,354,279	

# 貸借対照表

【一般会計】 2020年8月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
現金	0	未払金	14,973,074
銀行預金	28,495,487	未払法人税	70,200
貯蔵品	70,224	未払消費税	0
未収入金	4,674,957	前受金	4,740,000
仮払金	0	預り金	0
前払費用	0	仮受金	32,000
敷金	0	負債合計	19,815,274
立替金【認定】	3,601,355	正味財産	18,354,279
立替金【学術】	1,327,530	(うち当期正味財産増減額)	(4,725,650)
合計	38,169,553	合計	38,169,553

# 財産目録

【一般会計】 2020年8月31日現在 (単位:円)

科目	内容	金額
資産の部		0
現金	手持現金	0
銀行預金	三菱東京UFJ銀行 横浜中央支店 普通預金	26,657,840
貯蔵品	ゆうちょ銀行 振替口座	1,837,647
未収入金	学会誌在庫	70,224
立替金【認定】	8月分コンビニ・クレジット年会費入金分 他	4,674,957
立替金【学術】		3,601,355
資産合計		1,327,530
負債の部		38,169,553
未払金	(8月分)9月以降支払経費・学会誌22巻2号制作費 他	14,973,074
未払法人税	法人 都県市民税	70,200
未払消費税	還付のためなし	0
前受金	2020・2021年度年会費	4,740,000
仮受金	不明入金2件、研修参加費返金3件	32,000
負債合計		19,815,274
差引正味財産		18,354,279

# 2019年度収支報告書 <認定制度・特別会計>

自 2019年9月1日 至 2020年8月31日

(単位:円)

収入の部	2019年度予算	2019年度決算	備考(内訳)
受検料	4,500,000	0	(第17回受験)2020年度実施へ変更
認定登録料	1,420,000	0	
更新審査料	4,800,000	2,220,000	(第7回再更新、第12回更新)30,000円×74名
更新登録料	3,200,000	980,000	(第7回再更新、第12回更新)20,000円×49名
更新審査・登録料	150,000	70,000	(第2回再々更新審査および登録料)10,000円×7名
更新延長料	300,000	0	
再認定審査料	0	10,000	10,000円×1名
DLN研修	960,000	0	
DLNセミナー	350,000	0	
バッジ購入	0	1,500	500円×3個
受取利息	0	238	普通預金利息
雑収入	0	89,120	特別研修事例集販売、認定証再発行 1名
<b>合計</b>	<b>15,680,000</b>	<b>3,370,858</b>	



支出の部

項目	2019年度予算	2019年度決算	備考(内訳)
<b>DLN委員会</b>	<b>1,240,000</b>	<b>85,672</b>	
会場費	11,000	26,730	会場費
会議費	14,000	0	
旅費交通費	200,000	27,044	交通費
通信費	5,000	1,008	郵送代
印刷費	5,000	0	
消耗品費	5,000	0	
委託費	0	24,340	ガリレオ社開催支援委託費
雑費	1,000,000	6,550	振込手数料
<b>DLN研修</b>	<b>955,000</b>	<b>0</b>	開催中止
会場費	300,000	0	
会議費	15,000	0	
旅費交通費	120,000	0	
通信費	5,000	0	
印刷費	10,000	0	
消耗品費	10,000	0	
支払報酬料	150,000	0	
委託費	340,000	0	
雑費	5,000	0	
<b>認定委員会</b>	<b>700,000</b>	<b>799,239</b>	
会場費	120,000	119,020	委員会、WG会場費
会議費	10,000	65,015	お弁当代
旅費交通費	350,000	418,218	交通費
通信費	2,000	5,372	郵送代
印刷費	5,000	469	事例集、資料印刷費
消耗品費	0	0	
支払報酬料	0	0	
委託費	200,000	77,460	委員会開催支援 他
雑費	5,000	3,685	振込手数料
DLN事例集作成事業費	128,000	110,000	冊子作成費

認定試験・更新関連費用	4,424,000	205,963	今期はDLN更新関係費用のみ計上(受験関係は来期にて対応)
会場費	750,000	0	
会議費	48,000	0	
旅費交通費	1,040,000	0	
通信費	502,000	41,885	郵送、切手代
印刷費	652,000	13,662	資料印刷
消耗品費	10,000	66	宅配袋
支払報酬料	1,405,000	150,350	事例報告審査報酬
雑費	17,000	0	
<b>その他費用</b>	<b>6,300,000</b>	<b>2,079,320</b>	
業務委託費	5,500,000	1,995,926	ガリレオ社委託手数料(更新関連費用のみ)
通信費	100,000	3,612	
雑費	700,000	79,546	振込手数料(クレジット決済手数料含む)
租税公課	0	236	収入印紙
<b>予備費</b>	<b>1,000,000</b>	<b>0</b>	
支出合計	14,739,000	3,170,194	
収支差額	941,000	200,664	
正味財産前期繰越	35,982,975	35,982,975	
正味財産次期繰越	36,923,975	36,183,639	

# 貸借対照表

【認定制度特別会計】		2020年8月31日現在		(単位:円)
資産の部		負債・正味財産の部		
科目	金額	科目	金額	
現金	0	未払金	150,350	
銀行預金	41,585,767	前受金	3,330,000	
未収入金	870,000	仮受金	0	
前払費用	809,577	未払費用【一般】	3,601,355	
		負債合計	7,081,705	
		正味財産	36,183,639	
		(うち当期正味財産増加額)	(200,664)	
合計	43,265,344	合計	43,265,344	

# 財産目録

【認定制度特別会計】		2020年8月31日現在		(単位:円)
科目	内容	金額		
資産の部	手持現金	0		
	みずほ銀行 横浜支店 普通預金	41,585,767		
	第17回DLN審査・DLN問題作成会議関連費用	809,577		
	8月分クレジット登録料入金分	870,000		
	資産合計	43,265,344		
負債の部	事例報告審査報酬	150,350		
	第17回DLN審査 受験料	3,330,000		
	仮受金	0		
	未払費用【一般】	3,601,355		
	負債合計	7,081,705		
	差引正味財産	36,183,639		

## 収支報告書

【学術集会特別会計】

自 2019年9月1日 至 2020年8月31日  
(単位:円)

収入の部	項目	決算額
	学術集會會費	14,217,000
	展示・広告収入	10,045,800
	寄付金収入	6,536,000
	懇親会収入	879,000
	受取利息	238
	雑収入	20,000
	収入合計	31,698,038

支出の部	項目	決算額
	会議費	305,814
	旅費交通費	1,276,201
	通信費	221,590
	懇親会費	0
	消耗品費	108
	印刷費	4,165,287
	支払手数料	11,953,738
	賃借料(会場費)	12,793,825
	租税公課	36
	支払報酬料	1,576,599
	雑費	194,886
	支出合計	32,488,084
	差引差額	-790,046
	正味財産前期繰越	19,012,499
	正味財産次期繰越	18,222,453

## 貸借対照表

【学術集会特別会計】

2020年8月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
現金	0	仮受金	10,000
銀行預金	20,329,983	前受金	770,000
		未払費用【一般】	1,327,530
		負債合計	2,107,530
		正味財産	18,222,453
		(うち当期正味財産増源額)	-(790,046)
合計	20,329,983	合計	20,329,983

## 財産目録

【学術集会特別会計】

2020年8月31日現在

(単位:円)

科目	内容	金額
資産の部		
現金22	手持現金	0
銀行預金	横浜銀行 関内支店	19,549,983
銀行預金	北海道銀行 花川支店(学術22回)	0
銀行預金	福岡銀行 黒門支店(学術23回)	780,000
資産合計		20,329,983
負債の部		
前受金	福岡銀行口座開設金	770,000
仮受金		10,000
未払費用【一般】		1,327,530
負債合計		2,107,530
差引正味財産		18,222,453

## 貸借対照表総括表

令和2年8月31日現在

(単位：円)

科目	一般会計	認定制度・特別会計	学術集会特別会計	内部取引消去	合計
資産の部					
流動資産					
現金(一般会計)					0
現金(認定・特別会計)					0
現金(学術集会・特別会計)					0
<b>(現金合計)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
ゆうちょ銀行	1,837,647				1,837,647
三菱東京UFJ銀行	26,657,840				26,657,840
みずほ銀行		41,585,767			41,585,767
横浜銀行			19,549,983		19,549,983
学術銀行(北海道銀行)					0
学術銀行(福岡銀行)			780,000		780,000
					0
<b>(預金合計)</b>	<b>28,495,487</b>	<b>41,585,767</b>	<b>20,329,983</b>	<b>0</b>	<b>90,411,237</b>
貯蔵品	70,224				70,224
未収入金	4,674,957	870,000			5,544,957
立替金【認定】	3,601,355				3,601,355
立替金【学術】	1,327,530				1,327,530
前払費用		809,577			809,577
固定資産					0
敷金					0
<b>資産合計</b>	<b>38,169,553</b>	<b>43,265,344</b>	<b>20,329,983</b>	<b>0</b>	<b>101,764,880</b>
負債の部					
流動負債					
未払金	14,973,074	150,350			15,123,424
未払費用【一般】		3,601,355	1,327,530		4,928,885
未払法人税	70,200				70,200
未払消費税					0
前受金	4,740,000	3,330,000	770,000		8,840,000
預り金	0				0
仮受金	32,000		10,000		42,000
<b>負債合計</b>	<b>19,815,274</b>	<b>7,081,705</b>	<b>2,107,530</b>	<b>0</b>	<b>29,004,509</b>
正味財産の部					
一般正味財産	18,354,279	36,183,639	18,222,453		72,760,371
正味財産合計	18,354,279	36,183,639	18,222,453		72,760,371
前期繰越	13,628,629	35,982,975	19,012,499		68,624,103
当期収支差額	4,725,650	200,664	△ 790,046		4,136,268
<b>負債・正味財産計</b>	<b>38,169,553</b>	<b>43,265,344</b>	<b>20,329,983</b>		<b>101,764,880</b>

正味財産増減計算書総括表									
令和元年9月1日から令和2年8月31日						(単位:円)			
科目	一般会計	認定制度・特別会計	学術集会特別会計	法人会計	内部取引消去	合計	収益事業	非収益事業	合計
経常増減の部									
経常収益									
一般会費収入	39,620,000					39,620,000	0	39,620,000	39,620,000
賛助会費収入	1,230,000					1,230,000	0	1,230,000	1,230,000
名誉会費収入						0	0	0	0
DLN受験対策収入	2,050,000					2,050,000	0	2,050,000	2,050,000
トビックス研修収入						0	0	0	0
透析看護研修収入						0	0	0	0
特別研修参加費収入	1,990,000					1,990,000	0	1,990,000	1,990,000
受験料収入						0	0	0	0
更新審査料収入		2,220,000				2,220,000	0	2,220,000	2,220,000
認定登録料収入						0	0	0	0
更新登録料収入		980,000				980,000	0	980,000	980,000
DLN研修収入						0	0	0	0
更新延長料収入						0	0	0	0
バッジ購入収入		1,500				1,500	0	1,500	1,500
再々更新審査・登録料収入		70,000				70,000	0	70,000	70,000
再認定審査料収入		10,000				10,000	0	10,000	10,000
学術集會会費収入			14,217,000			14,217,000	0	14,217,000	14,217,000
展示・広告費収入			10,045,800			10,045,800	4,008,600	6,037,200	10,045,800
寄付金収入			6,536,000			6,536,000	0	6,536,000	6,536,000
懇親会会費収入			879,000			879,000	0	879,000	879,000
経常収益小計	44,890,000	3,281,500	31,677,800	0	0	79,849,300	4,008,600	75,840,700	79,849,300
その他収入	180,171	89,358	20,238	0	0	289,767	180,021	109,746	289,767
受取利息収入	150	238	238			626	0	626	626
受取手数料収入						0	0	0	0
雑収入	180,021	89,120	20,000			289,141	180,021	109,120	289,141
経常収益合計	45,070,171	3,370,858	31,698,038	0	0	80,139,067	4,188,621	75,950,446	80,139,067
特別収益合計	45,070,171	3,370,858	31,698,038	0	0	80,139,067	4,188,621	75,950,446	80,139,067
経常費用									
給料手当				0	0	0	0	0	0
法定福利費	58,635			58,635	△ 58,635	58,635	3,064	55,571	58,635
福利厚生費				0	0	0	0	0	0
退職金共済	15,000			15,000	△ 15,000	15,000	784	14,216	15,000
荷造運賃					0	0	0	0	0
役員・理事会費	3,223,310				0	3,223,310	0	3,223,310	3,223,310
倫理委員会費	24,420				0	24,420	0	24,420	24,420
編集委員会費	151,012				0	151,012	0	151,012	151,012
教育委員会費	25,338				0	25,338	0	25,338	25,338
広報委員会費	84,683				0	84,683	0	84,683	84,683
看護政策委員会費	5,500				0	5,500	0	5,500	5,500
医療安全・感染対策委員会費					0	0	0	0	0
選挙管理委員会					0	0	0	0	0
CKDプロジェクト委員会費	503,307				0	503,307	0	503,307	503,307
災害対策委員会費	9,434				0	9,434	0	9,434	9,434
認定委員会費		799,239			0	799,239	0	799,239	799,239
DLN委員会費		85,672			0	85,672	0	85,672	85,672
DLN代表					0	0	0	0	0
試験関連費用		205,963			0	205,963	0	205,963	205,963
研究委員会費	10,500				0	10,500	0	10,500	10,500
看護研究助成審査委員会費	1,728				0	1,728	0	1,728	1,728
国際交流委員会費	117,474				0	117,474	0	117,474	117,474
統計調査委員会費	10,500				0	10,500	0	10,500	10,500
研修費	4,461,093				0	4,461,093	0	4,461,093	4,461,093
治療選択特別研修費	4,804,940				0	4,804,940	0	4,804,940	4,804,940
教育事業費	6,798				0	6,798	0	6,798	6,798
支払助成金	500,000			500,000	△ 500,000	500,000	26,133	473,867	500,000
会議費			305,814		0	305,814	0	305,814	305,814
旅費交通費	92,718		1,276,201	92,718	△ 92,718	1,368,919	4,846	1,202,682	1,368,919
通信費	638,419	3,612	221,590	638,419	△ 638,419	863,621	33,368	28,022	863,621
懇親会費					0	0	0	0	0
消耗品費	40,253		108	40,253	△ 40,253	40,361	2,103	13	40,361
事務用品費	2,626			2,626	△ 2,626	2,626	137	0	2,626
印刷費			4,165,287		0	4,165,287	0	526,750	4,165,287
水道光熱費	9,845			9,845	△ 9,845	9,845	514	0	9,845
広報費	12,076,376				0	12,076,376	0	0	12,076,376
支払手数料	1,607,767	1,995,926	11,953,738	1,607,767	△ 1,607,767	15,557,431	84,033	1,511,694	15,557,431
貸借料			12,793,825		0	12,793,825	0	1,617,933	12,793,825
修繕費					0	0	0	0	0
租税公課	535,522	236	36	535,522	△ 535,522	535,794	27,988	0	535,794
関連学会年会費	730,000			730,000	△ 730,000	730,000	38,154	0	691,846
支払報酬料	1,295,100		1,576,599	1,295,100	△ 1,295,100	2,871,699	67,690	199,379	2,604,630
事務局業務委託費	7,110,222			7,110,222	△ 7,110,222	7,110,222	371,629	0	6,738,593
事務局移管初期費用	1,992,345			1,992,345	△ 1,992,345	1,992,345	104,133	0	1,888,212
雑費	129,456	79,546	194,886	129,456	△ 129,456	403,888	6,766	24,645	403,888
経常費用合計	40,274,321	3,170,194	32,488,084	14,757,908	△ 14,757,908	75,932,599	4,879,842	71,052,757	75,932,599
法人税等	70,200				0	70,200	0	0	70,200
費用合計	40,344,521	3,170,194	32,488,084	14,757,908	△ 14,757,908	76,002,799	4,950,042	71,052,757	76,002,799
他会計振替額					0	0			0
収支差額	4,725,650	200,664	△ 790,046	△ 14,757,908	14,757,908	4,136,268	△ 761,421	4,897,689	4,136,268

売上割合

全体

収益事業	5.2267%	=	4,188,621
			80,139,067

非収益事業	94.7733%	=	75,950,446
			80,139,067

一般内

収益事業	0.3994%	=	180,021
			45,070,171

非収益事業	99.6006%	=	44,890,150
			45,070,171

学術内

収益事業	12.6462%	=	4,008,600
			31,698,038

非収益事業	87.3538%	=	27,689,438
			31,698,038

収益事業への経費配賦基準

共通費	法人会計	×	5.23%
-----	------	---	-------

直接費	学術部門	×	12.65%
-----	------	---	--------

## 監事監査報告書

一般社団法人  
日本腎不全看護学会  
理事長 中原 宣子 様

私たちは、日本腎不全看護学会の2019年9月1日から2020年8月31日までの財産の状況について、2020年10月1日に監査を行いました。

また、理事の業務執行の状況に関する監査にあたっては、理事会に出席し必要と認める場合には質問を行いました。

その結果について、以下のとおりご報告いたします。

### 監査の方法の概要

私たちは、理事会その他の重要な会議の議事録、および理事などからその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類などを閲覧し、事務局などにおいて業務および財産の状況を調査し、事業報告を求めました。

また、会計帳簿などの調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表および損益計算書の監査を実施いたしました。

### 記

#### 監査結果

- ① 事業報告書は法令および定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。
- ② 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- ③ 計算書類は、法令および定款に従い、損益および財産状況を正しく示しているものと認めます。
- ④ 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2020年10月1日

一般社団法人日本腎不全看護学会

監事 山口 伸子



同 不動寺 美紀



## 第2号議案 2020年度事業計画および予算案承認の件

当学会の2020年度事業計画および予算案を下記のとおり策定したので、その承認を求める。



2020 年度事業計画

編集委員会

委員長：齋藤凡

活動目標	計画事業	内容
<p>本学会誌を年 2 回発刊するとともに、学会誌の投稿システムの整備を進め、投稿促進および論文掲載数増加をはかる。</p>	<p>1. 学会誌発行</p>	<p>(1) 2021 年 4 月 第 23 巻 1 号発刊</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2021 年 10 月 第 23 回学術集会講演者へ原稿依頼</li> <li>・ 2021 年 1 月 最終原稿受理</li> <li>・ 2021 年 3 月 校正</li> </ul> <p>(2) 2021 年 8 月 第 23 巻 2 号発刊</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020 年 11 月 投稿原稿を検討し査読候補者決定・依頼</li> <li>・ 2020 年 12 月 査読結果受理</li> <li>・ 2021 年 1 月 著者へ修正依頼</li> <li>・ 2021 年 2 月 再査読依頼</li> <li>・ 2021 年 3 月 再査読結果受理、認定委員会へ DLN 事例報告の掲載推薦依頼</li> <li>・ 2021 年 4 月 掲載原稿決定</li> <li>・ 2021 年 5 月 掲載原稿の一部修正依頼</li> <li>・ 2021 年 6 月 最終稿入稿、認定委員会より DLN 事例報告原稿受理</li> <li>・ 2021 年 7 月 校正</li> </ul>
	<p>3. 学会誌への投稿促進および掲載論文数増加をはかる</p>	<p>(1) 第 24 回学術集会にて交流集会開催。 テーマ(仮)：本学会誌に掲載されるためには</p>
	<p>4. 事業運営のための委員会開催</p>	<p>(1) 2020 年 11 月 Web 開催 (2) 2021 年 3 月 Web 開催(詳細未定) (3) 2021 年 8 月 Web 開催(詳細未定) (1)～(3)いずれも委員 6 名参加予定 上記以外はメールにて委員会開催 以上</p>

2020 年度事業計画

教育委員会

委員長：濱井章

活動目標	計画事業	内容
<p>1. 腎不全看護の基礎的教育を行う</p> <p>2. 最新の知見を得る機会を学会員に提供する</p> <p>3. 今後取り組むべき課題について共有する機会を、腎不全看護と医療に関わる全ての専門職に提供する</p> <p>4. COVID-19 の感染拡大状況に対応し、オンラインでのセミナー方式を確立させる</p>	<p>(1) 2021 年 1 月からオンラインでのセミナー開催に向けて、マニュアル作成と環境を整備する</p> <p>(2) 各種セミナーの実施</p> <p>①第 14 回トピックス研修</p> <p>②第 5 回透析入門研修</p> <p>③第 5 回 DLN 受験対策セミナー</p> <p>④治療選択特別研修</p> <p>(3) 適宜教育委員会を開催する</p>	<p>委員メンバーで分担し、Zoom で行うセミナーのマニュアルを作成する</p> <p>日程、内容は検討中</p> <p>日程は未定、テーマ「腹膜透析」</p> <p>日程、内容は検討中</p> <p>日程は検討中</p> <p>テーマ</p> <p>A「血液透析・腹膜透析・腎移植の治療選択に関わる意思決定支援」</p> <p>B「治療選択に関わる看護倫理と意思決定支援の概要 エンドオブライフケア フレイル アドバンスケアプランニング」</p> <p>C「治療選択に関わる多職種協働・専門職連携のあり方」</p> <p>D「治療選択における高齢者ケア、認知症ケア、家族ケアのあり方</p> <p>E「治療選択に必要なメンタルヘルスとコーピング」</p> <p>F「治療選択の意思決定支援における事例のまとめ方と研究の取り組み」</p> <p>2020 年 10 月に 2020 年度、第 1 回教育委員会開催予定</p>

2020 年度事業計画

研究委員会

委員長：神谷千鶴

活動目標	計画事業	内容
<p>1. 腎不全看護に関する研究の質向上のための支援を行う。</p> <p>2. 診療報酬につながるエビデンスを示すことのできる研究を推進に積極的にかかわる。</p>	<p>1. 交流集会での研究支援と研究施設の募集</p> <p>2. 国際発表支援 関連学会 A N N S 等での発表に関する支援を行う</p> <p>3. 腎不全看護学会として必要なデータの収集・研究に必要な項目の検討（統計調査委員会、政策委員会と合同）</p> <p>3. 事業推進のための委員会開催 第1回 委員会 第2回 委員会 第3回 委員会 第4回 委員会</p>	<p>11月21～22日 第23回学術集会内でのオンライン交流集会の開催 内容：「臨床疑問が看護研究になるまで国際学会で研究発表してみませんか？」というテーマで開催予定</p> <p>随時 ホームページなどでコラムの掲載（案）</p> <p>「腎代替療法に関する質問項目」についての検討</p> <p>11月23日(日)オンライン会議 日時場所未定 対面予定 J S D T 時 日時場所未定</p>



2020 年度事業計画

広報委員会

委員長：円城寺由加里

活動目標	計画事業	内容
1. ホームページの管理	1. ホームページの管理の継続	<ol style="list-style-type: none"> <li>事務局との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ掲載内容の確認・指示</li> </ul> </li> <li>サーバー管理会社との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的なアクセス解析</li> <li>掲載困難時の相談</li> </ul> </li> </ol>
2. 災害時の対応	1. 災害時の情報発信	<ol style="list-style-type: none"> <li>災害対策委員会との連携 情報の共有と発信体制（各県 DLN 代表と共有体制の協議）</li> <li>災害情報、救援の呼びかけ</li> <li>災害啓蒙活動</li> </ol>
3. COVID-19 (新型コロナウイルス)	1. 関連のリンク information トピックスで発信	<ol style="list-style-type: none"> <li>医療安全・感染対策委員会との連携 ・ COVID-19 対策に関する情報資料を発信</li> </ol>
4. 広報の充実	1. 広報活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>ホームページを通じた学会広報の促進</li> <li>会員へのメッセージ充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>会員へ SOLTI の宣伝強化 登録者推進</li> </ul> </li> <li>非会員への新規導入への働きかけ</li> </ol>

2020 年度事業計画

看護政策委員会

委員長：宮下美子

活動目標	計画事業	内容
<p>看保連より腎不全看護領域の診療報酬改定に向けた要望を提出していく</p> <p>看護系学会協議会に参加し、情報を収集する</p> <p>他委員会と連携して、治療法選択支援のデータを収集する</p>	<p>看保連総会</p> <p>看保連 診療報酬のあり方委員会、情報交換会</p> <p>3 保連シンポジウム</p> <p>総会</p> <p>研修会</p> <p>調査項目の提案を行う</p>	<p>腎不全看護領域の診療報酬改定に向けた要望する</p> <p>情報収集、情報交換を行う</p> <p>情報収集、情報交換を行う</p> <p>診療報酬改定への要望のエビデンスとなる調査項目の提案</p>

2020 年度事業計画

医療安全・感染対策委員会 委員長：井本千秋

活動目標	計画事業	内容
<p>関連学会および他組織と協働し、腎不全看護領域の医療事故・院内感染対策に努める</p>	<p>1 日本透析医学会危機管理委員会医療安全小委員会との連携</p>	<p>(1) 委員として年1回委員会に参加する                      (2) 日本透析医学会学術集会において委員会企画に参加する                      ※コロナウイルスによる影響で変更あり</p>
	<p>2 日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）への協力</p>	<p>(1) 協力学会とし登録する                      年1回更新手続きをする                      事務局担当：ガリレオ事務局                      総括責任者：委員長</p>
	<p>3 医療安全及び感染対策について会員からの相談に対応する</p>	<p>(2) 協力学会説明会へ参加する                      年1回開催</p>
	<p>4 必要時はホームページを活用し会員へ周知する</p>	<p>(3) 学会に協力依頼フローチャートを更新していく</p> <p>相談内容に応じて専門領域看護師に相談し対応する</p>
	<p>5 事業推進のため委員会を開催する</p>	<p>医療安全・感染対策に関する重要情報などを提供・周知する</p> <p>年2回予定                      ※コロナウイルスによる影響で変更あり</p>

2020 年度事業計画

災害対策委員会

委員長：長尾尋智

活動目標	計画事業	内容
1. 災害対策への啓蒙を図る	JHAT への協力 各地域での JHAT 隊員研修の開催と参加者の募集 (JHAT の行う事業への JANN 災害対策委員会として参加し、災害時の教育、連絡体制の強化を図る。)	<b>JHAT 隊員研修への委員の派遣</b> <b>JHAT 事務局会議への参加 (WEB 会議)</b> JHAT 構成学会として JHAT 活動の支援を行う。 災害時の経験者による報告をまとめる。 災害時の自助、共助がスムーズな対応ができるよう、災害対策マニュアルの見直しを啓蒙する。 また、JHAT 隊員研修及び派遣隊員として JANN 会員、DNL 会員 (ポイント付与あり) が積極的な関与に当たれるよう情報の発信、啓蒙に努める。
2. 災害時対応	情報収集を行い、JHAT への情報提供を行う。 DLN 委員会等の組織を用い情報収集体制を確立する。 収集した情報を学会員へ還元する方法を検討する。	<b>各 DNL 県代表者との連携を密に行い情報収集にあたる。</b> 災害時の情報収集活動を効率よく行うために、DNL 委員会と協議を進める。(情報収集活動マニュアル等の整備) 災害時救援活動を担うために、各県の DNL 委員による JHAT 隊員登録、派遣要員について、DNL 委員会と協議を進める。 JHAT 隊員に占める DNL の人数の把握作業を進め、災害時の行動が迅速に行われよう内容を検討する。
3. 事業推進のための委員会開催	災害対策委員会を開催し、事業の内容、方法について検討する	<b>災害対策委員会の開催</b> コロナ禍による外出、出張規制によって対面会議ができなかった。 WEB, ZOOM などの会議と合わせ、委員会委員が対面会議により事業の実効性を高める。



2020 年度事業計画

国際交流委員会

委員長：平松美紀

活動目標	計画事業	内容
<p>1. 第 6 回アジア腎看護シンポジウム (6<sup>th</sup> Asian Nephrology Nursing Symposium: ANNS) シンガポール大会について、開催国への協力継続</p>	<p>シンガポール大会の大会長である Amy Lim Ee Lin 氏との連絡継続</p>	<p>今後の大会について修正等があり次第理事会報告。シンガポール大会の開催が確実になり次第、JANN ウェブ上でも告知を行い、演題登録など促進する。</p>
<p>2. 国際腹膜透析学会 (International Society for Peritoneal Dialysis: ISPD) リエゾンナス委員として各国との連携継続</p>	<p>コロナ禍における腹膜透析看護師の実態調査の実施</p>	<p>ISPD リエゾンナス委員会として、左記の調査の実施に向けて調整を行う。質問項目等の日本語への翻訳が必要な場合、委員会で協力して対応する。 メールおよびウェブカンファレンスによる各国の委員との連携を継続する。</p>
<p>3. 海外の腎不全看護に関しての情報提供</p>	<p>上記の調査結果を、日本の会員に向けて報告。</p>	<p>調査の進捗によるが、結果がまとまり次第、国内の状況についても報告を行う。</p>

2020 年度事業計画

倫理委員会

委員長：榊みのり

活動目標	計画事業	内容
<p>1. 学会活動および、学会運営を行うに際して、学会設立の趣旨にそった倫理上の指針を検討する</p> <p>2. 倫理指針の整理と、会員への周知および、会員への倫理に関する啓発活動を行う</p>	<p>1. 「会員」、「学会活動」、「学会運営」、「その他必要とされる倫理的案件」について審議し、学会としての倫理上の指針を示す</p> <p>2. 学会としての倫理上の指針に関してホームページへの掲載、セミナー等により、計画的に会員へ周知する</p> <p>3. 事業推進の為の委員会開催</p>	<p>1) 「会員」の倫理                      ー会員の行動を律する職業倫理規定は、日本看護協会の「看護者の倫理綱領」を基本とする</p> <p>2) 「学会活動」「学会運営」の倫理                      ー会員は、「日本腎不全看護学会の定款」によって活動する                      ー役員、理事、社員は「定款」および「細則」に則って会の運営を行う</p> <p>3) 「その他」: 本学会で実施する調査の審議                      ー倫理的配慮のチェックリスト作成を検討                      ー研究委員会との連携を検討</p> <p>看護倫理、倫理綱領、ガイドライン、法律等について広く教育や啓蒙活動を行うことを検討</p> <p>メール等で適宜開催</p>

2020 年度事業計画

統計調査委員会

委員長：定本高子

活動目標	計画事業	内容
1. 統計調査システム 作成	1) SOLTI 登録事業の推進・住所録 整備  2) 調査受け入れの流れ・手順作 成	①事務局に会員情報項目について確認・検討 ②SOLTI への会員情報登録の啓蒙 →事務局 に依頼 （学会員に対する全数調査が可能になるよ う整備する）  ①各委員会との共同調査の作業分担の明確 化 ②外部からの会員全数調査に対する受け入 れフローの作成・アセスメント機能の構築
2. 統計調査実施	1) 統計調査の実施	①統計調査委員会独自の調査 ②各委員会との共同調査

2020 年度事業計画

認定委員会

委員長：阿部利恵

活動目標	計画事業	内容
熟練した看護技術と知識を用いた質の高い腎臓病看護（看護管理）を実践する DLN を養成する	1. DLN 認定試験事業	(1) 認定試験受験資格審査（書類・事例報告） * COVID-19 の影響を考慮し、受験資格等に特別措置を適用 申請期間：1 月 12 日（火）～1 月 29 日（金） (2) 第 17 回・18 回認定試験 日時：5 月 23 日（日）13 時～15 時 会場：東京 大阪 福岡 運営および試験監督
DLN 活動を継続的に実践するため、看護（管理）実践・教育および社会的活動、自己研鑽の実績をもとに認定更新審査を実施する	2. DLN 認定更新事業	(1) 認定更新申請書類および事例報告審査 * COVID-19 の影響を考慮し、更新要件等に特別措置を適用 申請期間：4 月 26 日（月）～5 月 21 日（金） ・ 第 13 回認定更新 ・ 第 8 回認定再更新 ・ 第 3 回認定再々更新 ・ 認定延長申請 (2) 認定証の発行
DLN の役割を実践するために必要な継続的教育支援を実施する	3. 支援事業	(1) 交流集会 第 23 回学術集会・総会にて 「DLN 事例報告の書き方」開催予定（11 月 22 日） (2) 認定事業の評価 統計調査委員会と連携し、評価項目検討
DLN の自己研鑽の機会を確保する	4. 地方会登録事業	登録審査等 * COVID-19 の感染防止対策のため Web 開催した場合は、従来通りのポイントを付与する特別措置を適用
慢性腎臓病看護に必要な医学的知識、看護理論等、看護実践の根拠となるテキストを作成する	5. 慢性腎臓病看護（第 6 版）テキスト作成	2021 年 6 月頃の出版予定。以下の編集会議を開催予定 第 6 回 9 月 22 日（Microsoft Teams）リモート開催 第 7 回 10 月 3 日（Microsoft Teams）リモート開催 第 8 回 10 月 18 日（増子記念病院 名古屋） 以降、計 5 回の編集会議開催予定
	6. 事業運営のための委員会開催	第 1 回 11 月 7 日（Microsoft Teams）リモート開催予定 以降、計 4 回の委員会開催予定 （内 2 回は、認定試験受験資格審査および認定更新審査会議を兼ねる） 以上

2020 年度事業計画

DLN 委員会

委員長：後藤浩也

活動目標	計画事業	内容
<p>DLN のネットワーク作りと知識向学のために DLN セミナーを開催する</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業推進のために委員会を開催する</li> <li>2. 全国 DLN 代表会議およびセミナーを開催する</li> <li>3. 都道府県レベルでの DLN セミナーを開催する</li> <li>4. 災害対策支援への連携</li> <li>5. 新型コロナウイルス感染症対策への連携</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 3 回/年開催 新型コロナウイルス感染症の状況をふまえてリモートによる開催を 11 月、3 月、6 月を軸に開催する。(感染の状況をふまえてリモート以外での招集も検討する)</li> <li>2. 第 3 回全国 DLN 代表者会議を 2021 年 2 月に開催 新型コロナウイルス感染症の状況によりリモート開催 全国 DLN 代表者を対象に zoom を用いて会議以外に DLN 委員による講演会と全国 DLN 代表者同士のワークショップを実施する。(DLN セミナー：研究会の扱いとする)</li> <li>3. リモートによるセミナー開催 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み本年度は地区代表が中心となり 6 月、8 月の計 2 回の企画運営をおこなう。  2、3 に関する資料を添付  九州 CKD 看護研究会への支援 第 3 回が中止となり、九州地区の DLN が活動できるように検討していく</li> <li>4. 災害対策委員会および JHAT と災害発生時の連携強化を図っていく</li> <li>5. 新型コロナウイルス感染症対策について感染対策委員会と連携を強化していく</li> </ol>

## 全国 DLN 代表会議および DLN セミナーについて

### 1. DLN セミナーについて

今期は、新型コロナウイルス感染症流行のため各地で予定していた DLN セミナー全てが中止となった。現在も終息の兆しが見えない状況である。その状況下の中、相次いで各学会も WEB 開催となり、当学会も WEB による学術集会開催となった。また、教育委員会主催による研修も WEB によるリモート開催を計画している。DLN 委員会主催の DLN セミナーも現在の状況を鑑みると各都道府県での開催も 3 蜜を避けながら企画運営するのが難しいと考えられる。そこで、今年度は、DLN セミナーの開催を都道府県レベルでオンラインを用いた開催とした。初めての開催に際して、オンライン専門の運営サポートを依頼し当学会に不利益が生じないように努めていく。開催内容（概要）は以下に示す。

#### 1) 都道府県内近隣レベルで開催する「DLN セミナー：事例検討会」

来年度実施しない

#### 2) 都道府県レベルでの開催「DLN セミナー：研究会」を第 3 回全国 DLN 代表者会議と併用して実施

- (1) 第 3 回全国 DLN 代表者会議を 2021 年 2 月にリモート（zoom）開催
- (2) 全国 DLN 代表者を対象に zoom を用いて会議以外に DLN 委員による講演会と全国 DLN 代表者同士のワークショップを実施する(DLN セミナー:研究会の扱いとする)
- (3) 事務局費、専門家とのマネジメント契約費と予算が必要になるため一人 2000 円の参加費を徴取する
- (4) 参加ポイント 2 時間以上開催
  - ・企画者 10P
  - ・参加者 6P
  - ・講師 12P
  - ・座長 3P

#### 3) DLN 委員会主催での開催

- (1) 2) 以外に本年度は、地区代表が中心となり 6 月、8 月の計 2 回実施
- (2) 全国学会員を対象に zoom を用いて実施
- (3) 事務局費、専門家とのマネジメント契約費と予算が必要になるため一人 3000 円の参加費を徴取する
- (4) 参加ポイント 2 時間以上開催
  - ・企画者 10P
  - ・参加者 6P
  - ・講師 12P

・座長 3P

4) 2つの開催に関して

- (1) 参加受付から参加証名簿管理まで一切事務局に依頼  
SOLTIからの参加登録→クレジット決済→参加者管理まで事務局に依頼
- (2) 広報
  - ・JANNのHPに案内
  - ・郵送にて学会員に広報する
  - ・DLNネットワークを活用して案内
  - ・各研究会や学会、集団会などを活用して案内

2020 年度事業計画

CKD 委員会

委員長：木村剛

活動目標	計画事業	内容
<p>I. 保存期 CKD ケアに関する知見を体系的に集積し、そのスタンダードを明らかにする</p>	<p>1. 知見集積事業</p>	<p>1) 保存期ケアガイド作成グループ 2021 年 3 月出版に向け、編者校正会議、出版社との最終協議を予定通り実施</p> <p>2) 腎移植ケアガイド作成グループ 2021 年 11 月の発刊へ向け、CQ の精練、外部アドバイザリー委員へのエキスパートオピニオン、総論・各論の執筆、編者校正会議を計画通り実施</p>
<p>II. 保存期ケアガイド、腎移植ケアガイドに関する知見の集積を公表し、保存期ケア、腎移植ケアの質向上に寄与する</p>	<p>2. ケアガイド作成事業</p>	<p>1) 保存期ケアガイド作成会議を実施し、2021 年 3 月の出版に向け活動する</p> <p>2) 腎移植ケアガイド作成会議を実施し、2021 年 11 月の出版へ向け活動する</p>
<p>III. 集積した保存期 CKD ケア、腎移植ケアに関する知見を基に、CKD 予防に関する啓発活動の計画・実施・推進に取り組む</p>	<p>3. 広報事業</p>	<p>1) これまで集積した知見を学会等で発表する。</p> <p>2) 透析予防に対する市民を対象とした啓発活動実施のための計画を立案し、1 回実施する。それを踏まえ、2021 年度以降の啓発事業の実施プランを作成、予算を組む。</p>



## 2020年度予算案 <一般会計>

自 2020年9月1日 至 2021年8月31日

### 収入の部

(単位:円)

行No.	項目	2019年度予算	2019年度決算	2020年度予算	備考(内訳)
1	年会費	37,210,000	40,850,000	38,070,000	
2		2,000,000	4,440,000	2,700,000	(一般)過年度
3		34,070,000	35,180,000	34,230,000	(一般)当年度 納付率85%想定
4		0	0	0	(賛助)過年度
5		1,140,000	1,230,000	1,140,000	(賛助)当年度 納付率95%想定
6		0	0	0	(名誉)
7	研修費	4,090,000	2,050,000	1,330,000	
8		2,050,000	2,050,000	840,000	DLN受験対策セミナー
9		840,000	0	250,000	透析看護入門研修
10		1,200,000	0	240,000	トピックス研修
11		前年は認定特別会計で計上	0	0	DLN研修
12	教育セミナー参加費	350,000	0	820,000	DLNセミナー 各地区で開催
13	特別研修参加費	6,000,000	1,990,000	1,200,000	
14	その他収入	490,000	180,171	490,000	
15	雑収入	200,000	180,021	200,000	テキスト印税、WEB文庫使用料など
16	受取利息	0	150	0	預金利息
17	受取手数料	290,000	0	290,000	学会誌広告掲載料
18	収入合計	48,140,000	45,070,171	41,910,000	

### 支出の部 I

行No.	項目	2019年度予算	2019年度決算	2020年度予算	備考(内訳)
19	会議費	3,235,000	3,223,310	3,450,000	役員会6回、理事会3回、社員総会1回、会計監査1回
20		600,000	573,497	600,000	役員会・理事会・会計監査 (会議会場費、お弁当代)
21		2,500,000	2,362,451	2,500,000	役員会・理事会・会計監査 (交通費)
22		100,000	29,458	50,000	役員会・理事会・社員総会 (通信費)
23		35,000	257,904	300,000	役員会・理事会・会計監査 (雑費)
24	委員会活動費	5,845,110	943,896	10,019,500	
25		351,000	151,012	351,000	編集委員会 (会議費、交通費、通信費)
26		350,000	25,338	400,000	教育委員会 (会議費、交通費、通信費)
27		200,000	10,500	107,000	研究委員会 (会議費、交通費、通信費)
28		110,000	1,728	70,000	看護研究助成審査委員会 (会議費、通信費)
29		179,500	84,683	181,500	広報委員会 (会議費、交通費、通信費)
30		450,000	5,500	242,000	看護政策委員会 (会議費、交通費)
31		380,000	9,434	480,000	災害対策委員会 (会議費、交通費、調査費)
32		168,000	0	120,000	医療安全・感染対策委員会 (会議費、交通費)
33		426,610	117,474	409,000	国際交流委員会 (会議費、交通費)
34		110,000	24,420	115,000	倫理委員会 (会議費、交通費)
35		176,000	10,500	758,000	統計調査委員会 (会議費、通信費、交通費)
36		2,944,000	503,307	3,778,000	CKD委員会 (会議費、交通費、印刷費、文献レビュー謝金含む)
37		前年は認定特別会計で計上	0	593,000	認定委員会 (会議費、交通費、印刷費、通信費)
38		前年は認定特別会計で計上	0	1,035,000	DLN委員会 (会議費、交通費、印刷費、委託費等)
39		0	0	1,380,000	選挙管理委員会 (会議費、交通費、印刷費、通信費)
40	研修費	4,008,327	4,461,093	985,000	
41		665,000	119,970	165,000	トピックス研修 (交通費、通信費、謝礼など)
42		810,000	0	190,000	透析看護入門研修 (交通費、通信費、謝礼など)
43		2,230,820	4,056,781	630,000	DLN受験対策セミナー (会場費、交通費、通信費、謝礼、委託費など)
44		302,507	284,342	0	学術集会併設セミナー (交通費、通信費、謝礼など)
45		前年は認定特別会計で計上	0	0	DLN研修
46	教育事業費	960,000	6,798	1,496,500	
47		100,000	0	0	DLNセミナー会場費
48		10,000	1,120	0	DLNセミナー交通費
49		850,000	5,678	1,496,500	DLNセミナーその他経費
50	治療選択特別研修	4,084,400	4,804,940	700,000	
51		1,500,000	2,426,415	100,000	会場費 (研修会場費)
52		250,000	306,024	200,000	交通費 (講師等旅費)
53		2,334,400	2,072,501	400,000	その他経費 (講師謝礼、通信費、お弁当代 他)
54	広報費	14,240,000	12,076,376	12,600,000	
55		2,900,000	1,510,593	1,800,000	通信費・荷造運賃 (会告などの発送代、宅配便 他)
56		600,000	483,487	600,000	ホームページ作成・管理費 (管理・更新手数料)
57		1,500,000	661,720	700,000	印刷費 (会告、封筒など)
58		9,240,000	9,420,576	9,500,000	学会誌 (冊子体1回、電子版1回)

支出の部Ⅱ

行No.	項目	2019年度予算	2019年度決算	2020年度予算	備考(内訳)
59	<b>事務局費</b>	<b>14,254,500</b>	<b>14,328,108</b>	<b>11,750,000</b>	
60		0	9,845	0	水道光熱費 専従事務局閉鎖により計上なし
61		1,000,000	638,419	300,000	通信費 (事務通信費)
62		300,000	92,718	150,000	交通費 (理事長 関連学会参加交通費)
63		0	73,635	0	法定福利費 専従事務局閉鎖により計上なし
64		0	2,626	0	事務用品費 専従事務局閉鎖により計上なし
66		200,000	40,253	100,000	消耗品費 (事務消耗品費)
67		800,000	1,295,100	800,000	支払報酬料 (税理士、司法書士)
68		2,100,000	1,992,345	0	事務局移管初期費用 (移管業務、2019年7月～先行業務分)
69		7,250,000	7,110,222	7,250,000	事務局業務委託費 (ガリレオ社/事務局業務・投稿査読管理業務)
70		730,000	730,000	730,000	関連学会年会費 (JHAT、看保連、看護系学会、全腎協)
71		800,000	1,737,223	1,650,000	雑費 (振込手数料・コンビニ手数料、振込手数料)
72		1,000,000	535,522	700,000	租税公課 (消費税、印紙、預金利息国税)
73		74,500	70,200	70,000	法人税・住民税及び事業税 (法人住民税)
74	<b>助成金</b>	<b>500,000</b>	<b>500,000</b>	<b>500,000</b>	看護研究助成金
75	<b>予備費</b>	<b>1,000,000</b>	<b>0</b>	<b>1,000,000</b>	
76	<b>支出合計</b>	<b>48,127,337</b>	<b>40,344,521</b>	<b>42,501,000</b>	
77	<b>収支差額</b>	<b>12,663</b>	<b>4,725,650</b>	<b>-591,000</b>	選挙事業138万円等の臨時支出により予備費含め60万円弱の赤字を想定
78	<b>正味財産前期繰越</b>	<b>13,628,629</b>	<b>13,628,629</b>	<b>18,354,279</b>	
79	<b>正味財産次期繰越</b>	<b>13,641,292</b>	<b>18,354,279</b>	<b>17,763,279</b>	

## 2020年度予算案 <認定制度・特別会計>

自 2020年9月1日 至 2021年8月31日

### 収入の部

(単位:円)

行No.	項目	2019年度予算	2019年度決算	2020年度予算	備考(内訳)
1	受験料	4,500,000	0	6,330,000	(第17回受験)30,000円×111名+(第18回受験)100名
2	認定登録料	1,420,000	0	1,990,000	(第17回受験)10,000円×104名+(第18回受験)95名
3	更新審査料	4,800,000	2,220,000	4,800,000	(第8回再更新、第13回更新)30,000円×160名
4	更新登録料	3,200,000	980,000	3,200,000	(第8回再更新、第13回更新)30,000円×160名
5	更新審査・登録料	150,000	70,000	300,000	(第3回再々更新)10,000円×30名
6	更新延長料	300,000	0	0	
7	再認定審査料	0	10,000	0	
8	DLN研修	960,000	0	一般会計へ	
9	DLNセミナー	350,000	0	一般会計へ	
10	バッチ購入	0	1,500	0	
11	受取利息	0	238	0	
12	雑収入	0	89,120	0	
13	<b>合計</b>	<b>15,680,000</b>	<b>3,370,858</b>	<b>16,620,000</b>	

### 支出の部

行No.	項目	2019年度予算	2019年度決算	2020年度予算	備考(内訳)
14	<b>DLN委員会</b>	<b>1,240,000</b>	<b>85,672</b>	<b>0</b>	
15	会場費	11,000	26,730	一般会計へ	
16	会議費	14,000	0		
17	旅費交通費	200,000	27,044		
18	通信費	5,000	1,008		
19	印刷費	5,000	0		
20	消耗品費	5,000	0		
21	支払報酬料	0	0		
22	委託費	0	24,340		
23	雑費	1,000,000	6,550		
24	<b>DLN研修</b>	<b>955,000</b>	<b>0</b>		
25	会場費	300,000	0	一般会計へ	
26	会議費	15,000	0		
27	旅費交通費	120,000	0		
28	通信費	5,000	0		
29	印刷費	10,000	0		
30	消耗品費	10,000	0		
31	支払報酬料	150,000	0		
32	委託費	340,000	0		
33	雑費	5,000	0		
34	<b>認定委員会</b>	<b>700,000</b>	<b>799,239</b>		
35	会場費	120,000	119,020	一般会計へ	
36	会議費	10,000	65,015		
37	旅費交通費	350,000	418,218		
38	通信費	2,000	5,372		
39	印刷費	5,000	469		
40	消耗品費	0	0		
41	支払報酬料	0	0		
42	委託費	200,000	77,460		
43	雑費	5,000	3,685		
44	DLN事例集作成事業費	128,000	110,000		

行No.	項目	2019年度予算	2019年度決算	2020年度予算	備考(内訳)
45	認定試験・更新関連費用	4,424,000	205,963	5,843,000	
46	会場費	750,000	0	659,000	試験会場費、審査会議等会場費
47	会議費	48,000	0	62,000	お弁当等
48	旅費交通費	1,040,000	0	1,404,000	試験運営・監督、会議交通費
49	通信費	502,000	41,885	803,000	通信費(切手、宅配便、セキュリティ便)
50	印刷費	652,000	13,662	1,020,000	試験関係印刷費、会議印刷費
51	消耗品費	10,000	66	10,000	備品費
52	支払報酬料	1,405,000	150,350	1,690,000	試験、書類・事例審査、作問等謝礼
53	委託費	0	0	0	ガリレオ社委託費はその他費用で計上
54	雑費	17,000	0	195,000	備品、振込手数料
55	その他費用	6,300,000	2,079,320	7,700,000	
56	業務委託費	5,500,000	1,995,926	6,600,000	DLN認定業務
57	通信費	100,000	3,612	200,000	資料送付など
58	雑費	700,000	79,546	900,000	振込手数料(クレジット決済手数料含む)
59	租税公課	0	236	0	預金利息(国税)
60	予備費	1,000,000	0	1,000,000	
61	支出合計	14,739,000	3,170,194	14,543,000	
62	収支差額	941,000	200,664	2,077,000	
63	正味財産前期繰越	35,982,975	35,982,975	36,183,639	
64	正味財産次期繰越	36,923,975	36,183,639	38,260,639	

※ 今期より、委員会活動予算については一般会計へ移行。本特別会計は認定事業会計の予算のみが計上されることとした。

第 3 号議案 定款変更の件

「慢性腎臓病療養指導看護師」の英語名称および略称の変更に係る  
定款変更について

本定款変更は、「慢性腎臓病療養指導看護師」の英語名称および略称変更の理事会承認を受けて、定款第4条条文に含まれる略称表記を改めるものである。

一般社団法人 日本腎不全看護学会 定款新旧対照表

(傍線の部分は改定部分)

変更案 (新)	現行定款 (旧)
(事業) 第4条 本法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 学術集会の開催 (2) 慢性腎臓病療養指導看護師 ( <u>CKDLN</u> ) の認定  (略)	(事業) 第4条 本法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 学術集会の開催 (2) 慢性腎臓病療養指導看護師 ( <u>DLN</u> ) の認定  (略)

以上

第 4 号議案 学術集会大会長承認の件

## **第26回日本腎不全看護学会学術集会・総会**

**大会長 相澤 裕**(医療法人社団清永会 矢吹病院)